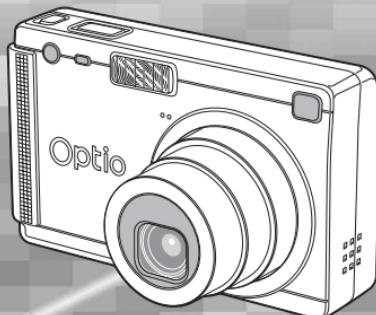
PENTAX®

デジタルカメラ

Optio S5i

使用説明書

PictBridge

カメラの正しい操作のため、ご使用前に
必ずこの使用説明書をご覧ください。

はじめに

このたびは、ペンタックス・デジタルカメラをお買い上げいただき誠にありがとうございます。本製品の機能を充分活用していただくために、ご使用になる前に本書をよくお読みください。また本書をお読みになった後は必ず保管してください。使用方法がわからなくなったり、機能についてもっと詳しく知りたいときにお役に立ちます。

著作権について

本製品を使用して撮影した画像は、個人で楽しむなどの他は、著作権法により、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興業、展示物の中には、個人として楽しむ目的があっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。また著作権の目的となっている画像は、著作権法の規定による範囲内で使用する以外は、ご利用いただけませんのでご注意ください。

本機を使用するにあたって

- 強い電波や磁気を発生する施設などの周囲では、カメラが誤動作を起こす場合があります。
- 液晶モニタに使用されている液晶パネルは、非常に高度な精密技術で作られています。99.99％以上の有効画素数がありますが、0.01％以下の画素で点灯しないものや常時点灯するものがありますので、あらかじめご了承ください。なお、記録される画像には影響ありません。

商標について

PENTAXおよびペンタックス、Optioおよびオプティオ、smc PENTAXはペンタックス株式会社の登録商標です。

SDロゴは商標です。

その他、記載の商品名、会社名は各社の商標もしくは登録商標です。

本製品はPRINT Image Matching IIIに対応しています。PRINT Image Matching対応プリンタでの出力及び対応ソフトウェアでの画像処理において、撮影時の状況や撮影者の意図を忠実に反映させることが可能です。なお、PRINT Image Matching III より前の規格に対応したプリンタでは、一部機能が反映されません。

PRINT Image Matching、PRINT Image Matching II、PRINT Image Matching IIIに関する著作権はセイコーエプソン株式会社が所有しています。

PictBridgeについて

「PictBridge」は、プリンタとデジタルカメラを直接接続して、画像をプリントアウトするダイレクトプリントの統一規格で、カメラ側から簡単な操作で画像をプリントできます。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用されることを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。使用説明書にしたがって、正しい取り扱いをしてください。

本文中のイラストおよび液晶モニタの表示画面は、実際の製品と異なる場合があります。

ご注意ください

この製品の安全性については充分注意を払っておりますが、下記マークの内容については特に注意をしてお使いください。

 警告　このマークの内容を守らなかった場合、人が重大な傷害を受ける可能性があることを示すマークです。

 注意　このマークの内容を守らなかった場合、人が軽傷または中程度の傷害を受けたり、物的損害の可能性があることを示すマークです。

本体について

 警告

- カメラを分解・改造などをしないでください。カメラ内部に高電圧部があり、感電の危険があります。
- 落下などにより、カメラ内部が露出したときは、絶対に露出部分に手をふれないでください。感電の危険があります。
- SD メモリーカードは、乳幼児の手の届くところに置かないでください。誤って飲み込む恐れがあります。万一、飲み込んだと思われる場合は、直ちに医師にご相談ください。
- ストラップが首に巻き付くと危険です。小さなお子様がストラップを首に掛けないようにご注意ください。
- ACアダプタは、必ず専用品を指定の電源・電圧でご使用ください。専用品以外のACアダプタをご使用になったり、専用のACアダプタを指定以外の電源・電圧でご使用になると、火災・感電・故障の原因になります。
- 使用中に煙が出ている・変なにおいがするなどの異常が発生した場合、すぐに使用を中止し、電池またはACアダプタを取り外したうえ、サービス窓口にご相談ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

⚠ **注意**

- 電池をショートさせたり、火の中に入れないでください。また、分解しないでください。破裂・発火のおそれがあります。
- 充電式リチウムイオンバッテリー D-LI8以外は充電しないでください。破裂・発火のおそれがあります。
- ストロボの発光部に手を密着させたまま発光させないでください。やけどの恐れがあります。
- ストロボの発光部を衣服などに密着させたまま発光させないでください。変色などの恐れがあります。
- バッテリーの液が目に入ったときは、失明の恐れがありますので、こすらずにすぐにきれいな水で洗ったあと、直ちに医師の治療を受けてください。
- バッテリーの液が皮膚や衣服に付着したときは、皮膚に障害をおこす恐れがありますので、すぐにきれいな水で洗い流してください。
- 万一、カメラ内の電池が発熱・発煙を起こしたときは、速やかに電池を取り出してください。その際は、やけどに充分ご注意ください。
- このカメラには、使用していると熱を持つ部分があります。その部分を長時間持ちつづけると、低温やけどを起こす恐れがありますのでご注意ください。
- 万一液晶が破損した場合、ガラスの破片には十分ご注意ください。中の液晶が皮膚や目についたり、口に入らないよう十分にご注意ください。

バッテリー充電スタンドとACアダプタについて

警告

- 指定された電源以外の電圧で使用しないでください。指定以外の電源・電圧で使用すると、火災・感電の原因となります。AC指定電圧は、100-240Vです。
- 分解したり、改造したりしないでください。火災・感電の原因となります。
- 使用中に煙が出ている・変なにおいがするなどの異常が発生した場合、すぐに使用を中止し、当社お客様相談センター、またはお客様窓口にご相談ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
- 万一、内部に水などが入った場合は、当社お客様相談センター、またはお客様窓口にご相談ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
- 使用中に雷が鳴り出したら、電源プラグをはずし、使用を中止してください。機器の破損、火災・感電の原因となります。
- 電源プラグにほこりが付着している場合は、よくふいてください。火災の原因となります。

注意

- ACコードの上に重いものを載せたり、落としたり、無理にまげたりしてコードを傷めないでください。もしACコードが傷んだら、当社お客様相談センター、またはお客様窓口にご相談ください。
- コンセントに差し込んだまま、ACコードの接続部をショートさせたり、さわったりしないでください。
- バッテリー充電スタンドをお使いにならないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いておいてください。
- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となります。
- 強い衝撃を与えたり、落としたりしないでください。故障の原因となります。
- バッテリー充電スタンド充電式リチウムイオンバッテリーD-LI8以外の電池は充電しないでください。他の電池を充電しようとすると、発熱や、充電スタンドの故障の原因となります。

取り扱い上の注意

- 海外旅行にお出かけの際は、国際保証書をお持ちください。また、旅行先での問い合わせの際に役立ちますので、製品に同梱しておりますワールドワイド・サービス・ネットワークも一緒にお持ちください。
- 長時間使用しなかったときや、大切な撮影（結婚式、旅行など）の前には、必ず試し撮りをしてカメラが正常に機能しているかを確認してください。万一、カメラや記録媒体（SDメモリーカード）などの不具合により撮影や再生、パソコン等への転送ができなかった場合、画像や音声など記録内容の保証については、ご容赦ください。
- このカメラはレンズ交換式ではありません。レンズの取り外しはできません。
- 汚れ落としに、シンナーやアルコール・ベンジンなどの有機溶剤は使用しないでください。
- 高温多湿の所は避けてください。特に車の中は高温になりますのでカメラを車内に放置しないでください。
- 防腐剤や有害薬品のある場所では保管しないでください。また、高温多湿の場所での保管は、カビの原因となりますので、乾燥した風通しのよい場所に、カメラケースから出して保管してください。
- このカメラは防水カメラではありませんので、雨水などが直接かかる所では使用できません。
- 強い振動・ショック・圧力などを加えないでください。オートバイ・車・船などの振動は、クッションなどを入れて保護してください。
- カメラの使用温度範囲は0℃～40℃です。
- 高温では液晶表示が黒くなることがありますが、常温に戻れば正常になります。
- 低温下では、液晶の表示応答速度が遅くなることもありますが、これは液晶の性質によるもので、故障ではありません。
- 高性能を保つため、1～2年ごとに定期点検にお出しいただくことをお勧めします。
- 急激な温度変化を与えると、カメラの内外に結露し水滴が生じます。カメラをバッグやビニール袋などに入れ、温度差を少なくしてから取り出してください。
- ゴミや泥・砂・ホコリ・水・有害ガス・塩分などがカメラの中に入らないようにご注意ください。故障の原因になります。雨や水滴などが付いたときは、よく拭いて乾かしてください。
- SDメモリーカードの取り扱いについては、「SDメモリーカード使用上の注意」（p.21）をご覧ください。

- 破損や故障の原因になりますので、液晶モニタの表面を強く押さないでください。
- カメラを腰のポケットに入れた状態で椅子などに座ると、カメラが変形したり液晶モニタが破損する恐れがありますのでご注意ください。
- 三脚使用時は、ネジの締め過ぎに十分ご注意ください。

目次

設定 114

付録 128

本書の構成

本書は、次の章で構成されています。

1 準備

お買い上げ後、写真を撮るまでの準備操作について説明しています。必ずお読みになり、撮影をはじめる前に、操作を行ってください。

2 クイックスタート

一番簡単な撮影方法と再生方法を説明しています。すぐに撮影・再生をしたいときは、この操作方法をご利用ください。

3 機能共通操作

各ボタンの機能、メニューの設定方法など、各機能に共通する操作について説明しています。詳しい内容は、「撮影」「録音・再生」「再生・消去・画像編集」「設定」の各章をご覧ください。

4 撮影

さまざまな撮影の方法や、撮影シーンに合わせた撮影モード画面の設定方法など、撮影に関する機能の設定方法について説明しています。

5 録音・再生

音声だけの録音や画像に音声を追加する方法、再生のしかたを説明しています。

6 再生・消去・画像編集

カメラ・テレビでの再生の方法や消去のしかた、画像サイズの変更やトリミングの方法、直接プリンタにつないでプリントする方法などを説明しています。

7 設定

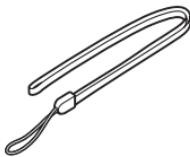
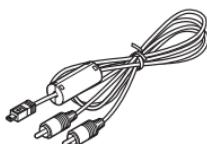
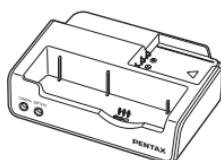
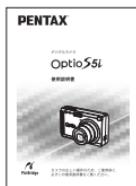
カメラに関する機能の設定方法について説明します。

8 付録

困ったときの対処のしかたや、別売品の案内をしています。

1
2
3
4
5
6
7
8

操作説明中で使用されている表記の意味は次のようになっています。

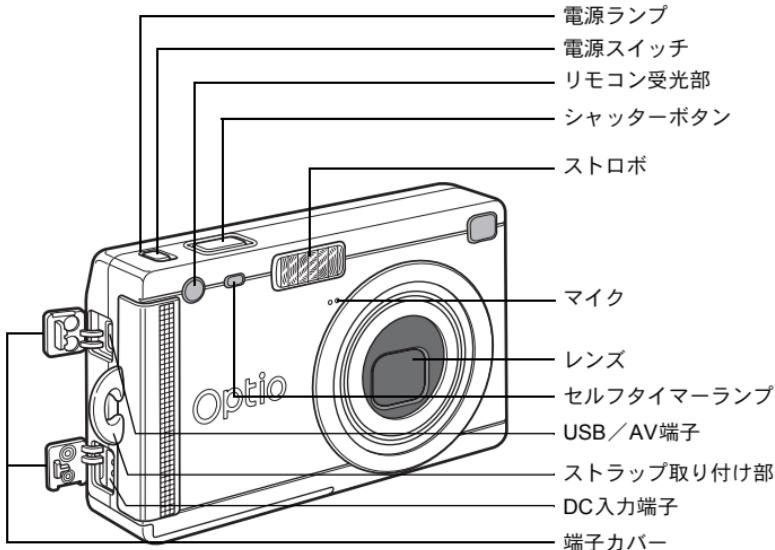
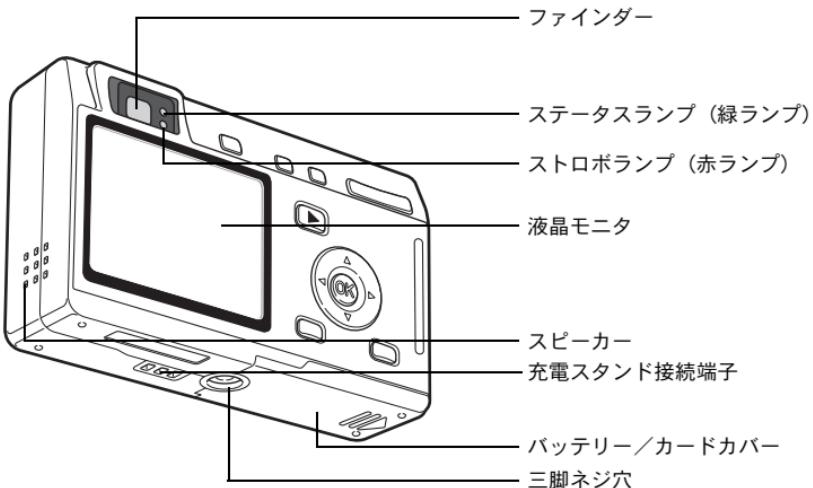
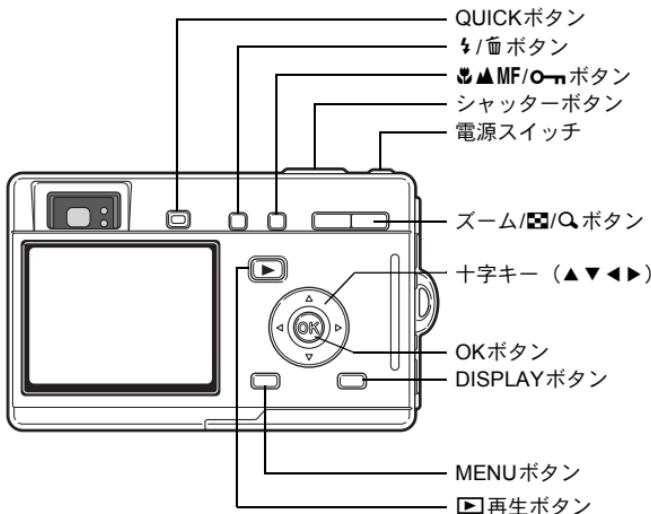
☞	関連する操作の説明が記述されているページを記載しています。
メモ	知っておくと便利な情報などを記載しています。
注意	操作上の注意事項などを記載しています。

主な同梱品の確認

（※）の製品は、別売アクセサリーとしてもご用意しております。
その他の別売アクセサリーについては、「別売アクセサリー一覧」（p.129）をご覧ください。

各部の名称

前面

電源ランプ
電源スイッチ
リモコン受光部
シャッターボタン
ストロボ
マイク
レンズ
セルフタイマーランプ
USB／AV端子
ストラップ取り付け部
DC入力端子
端子カバー
Optio

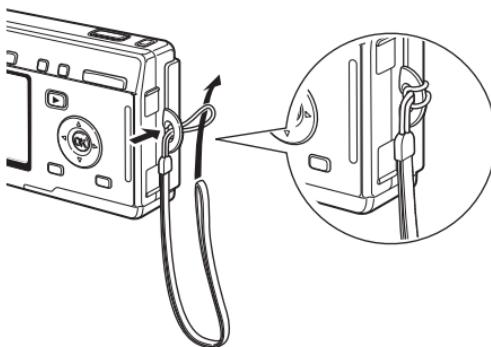
背面

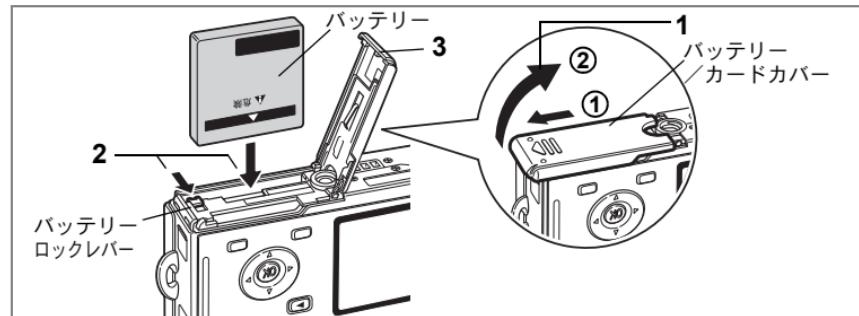
ファインダー
ステータスランプ（緑ランプ）
ストロボランプ（赤ランプ）
液晶モニタ
スピーカー
充電スタンド接続端子
バッテリー／カードカバー
三脚ネジ穴
OK

操作部の名称

ガイド表示について

操作中は液晶モニタにボタン操作のガイドが表示されます。
ガイド表示では、ボタンは次のように表されます。

十字キー（▲）	▲
十字キー（▼）	▼
十字キー（◀）	◀
十字キー（▶）	▶
MENUボタン	MENU
シャッターボタン	SHUTTER

ズーム/▦/🔍ボタン	
デジタルズーム時	🔍
トリミング指定時	🔍
DISPLAYボタン	DISP
🗑ボタン	🗑
O┳ボタン	O┳
OKボタン	OK

ストラップを取り付ける

ストラップの細いひもを、ストラップ取り付け部に通して取り付けます。

電源を準備する

バッテリーをセットする

同梱のバッテリーをセットします。

1　バッテリー／カードカバーを開ける

①の方向に引き出してから②の方向に引き上げます。

2　バッテリーロックレバーを矢印の方向に押し、バッテリーの▲マークを液晶モニタ側に向けながらロックされるまで挿入する

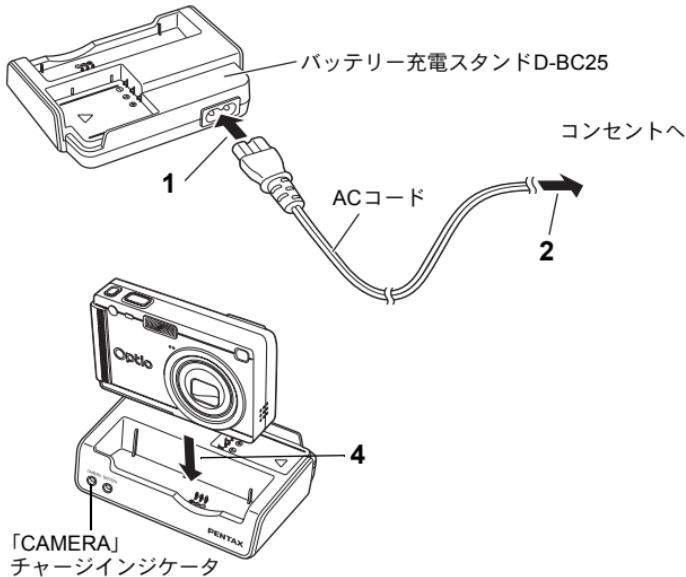
3　バッテリー／カードカバーを閉じる

バッテリーを取り出す

1　バッテリーロックレバーをバッテリー挿入時と同じ方向に押す

バッテリーが少し飛び出しますので、引き抜いてください。

長時間連続してご使用になるときは、ACアダプタキットK-AC8J（別売）をご使用ください。（p.18）

- バッテリーは正しく入れてください。間違った向きに入れると、故障の原因になります。
- 電源スイッチがオンのときは、バッテリーを取り出さないでください。
- カメラを長時間使用しない場合は、バッテリーを取り出した状態で保管してください。
- バッテリーを長時間取り出していると、日時の設定がリセットされることがあります。

バッテリーを充電する

はじめてご使用になるときや、「バッテリー容量がなくなりました」というメッセージが表示されたときは、付属のバッテリー充電スタンドD-BC25を使って充電してください。バッテリーをカメラに入れたままで充電できます。

1　バッテリー充電スタンドD-BC25にACコードを接続する

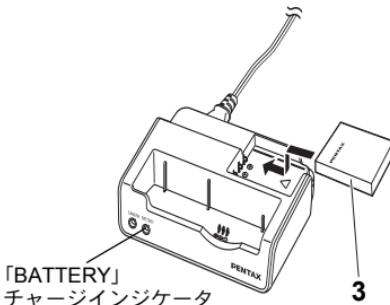
2　ACコードをコンセントに差し込む

カメラにバッテリーを入れた状態で充電する場合

3　カメラの電源をオフにする

4　カメラを、バッテリー充電スタンドに載せる

ケースのくぼみにレンズが合うように載せます。充電中は、充電スタンドの「CAMERA」チャージインジケータが赤色に点灯します。充電が完了すると、チャージインジケータが消灯します。

5　充電終了後、バッテリー充電スタンドからカメラを取り外す

バッテリーだけを充電する場合

カメラからバッテリーを取り外して、バッテリーだけを充電することもできます。

3 バッテリーを「PENTAX」の文字が見えるようにセットする

充電中は「BATTERY」チャージインジケータが赤色に点灯します。充電が完了すると、チャージインジケータが消灯します。

4 充電終了後、バッテリー充電スタンドからバッテリーを取り外す

- カメラとバッテリーを一緒にバッテリー充電スタンドに載せて充電することもできます。
- 充電時間は、最大で約100分です。周囲の温度が0℃～40℃の範囲で充電してください。
- 充電時間は、周囲の温度や充電状態によって異なります。
- バッテリーの寿命がくると、正しい充電を行っても使用できる時間が短くなります。新しいバッテリーと交換してください。
- バッテリーだけを充電する場合は、バッテリー充電器キット K-BC8J（別売）も利用できます。

- お買い上げ時や長期間使わなかったバッテリーは、ご使用になる前に必ず充電してください。
- 付属のバッテリー充電スタンドD-BC25では、専用の充電式リチウムイオンバッテリー D-LI8以外のバッテリーは充電しないでください。充電スタンドの破損や発熱の原因となります。
- バッテリーを正しい向きにセットしてもインジケータランプが点灯しない場合は、バッテリーの異常です。新しいバッテリーと交換してください。

• 使用時間の目安（専用バッテリー D-LI8フル充電時）

撮影可能枚数　：約160枚（ストロボ使用率50%、液晶モニタオン、23℃）
再生時間　　　：約130分

• 撮影可能枚数は、CIPA規格に準じた条件で測定したものです。撮影モード、撮影状況により異なります。

• 使用環境温度が下がると、電池の性能が低下します。寒冷地で使用する場合は、予備の電池を用意して、衣服の中で保温するなどしてご使用ください。なお、低温によって低下した電池の性能は、常温の環境で元に戻ります。
• 海外旅行、寒冷地で撮影する場合や、大量に撮影する場合は、予備電池をご用意ください。

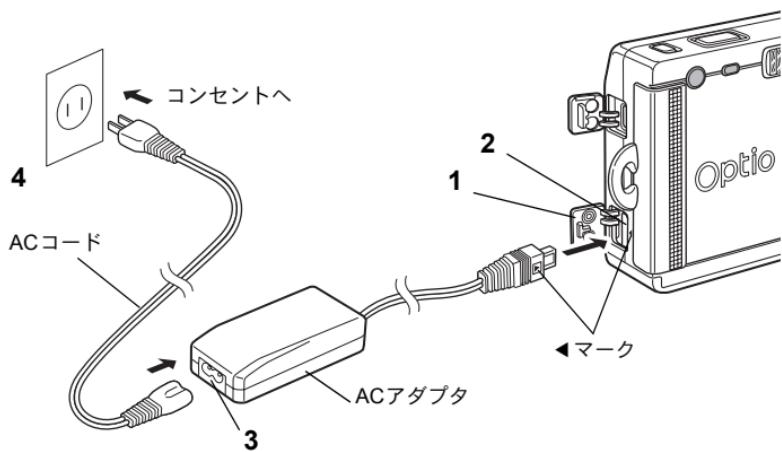
• バッテリーの残量表示

液晶モニタに表示されたで、バッテリーの残量を確認できます。

表示		
（緑点灯）	：	バッテリーがまだ十分に残っています。
↓		
（緑点灯）	：	少し減っています。
↓		
（黄点灯）	：	だいぶ減っています。
↓		
（赤点灯）	：	残量がほとんどありません。
↓		
「電池容量がなくなりました」	：	メッセージ表示後、電源オフとなります。

• リサイクルについて

このマークは小型充電式電池のリサイクルマークです。ご使用済みの小型充電式電池の廃棄に際しては、端子部に絶縁テープをはって、小型充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。

1
準備

ACアダプタを使用する（別売）

液晶モニタを長時間ご使用になるときや、パソコンと接続するときは、ACアダプタキットK-AC8J（別売）のご使用をおすすめします。

1　カメラの電源が切れていることを確認してから、端子カバーを開ける

2　AC アダプタの DC 端子を、カメラの DC 入力端子に「◀」マークを合わせて接続する

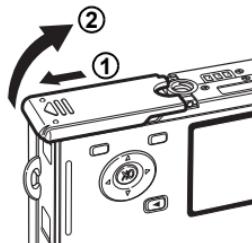
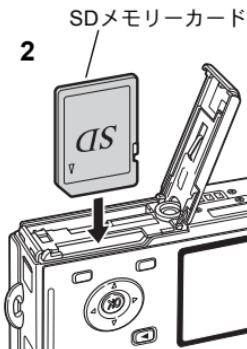
3　ACコードをACアダプタに接続する

4　コンセントに電源プラグを差し込む

- AC アダプタを接続または外すときは、必ずカメラの電源が切れた状態で行ってください。
- 電源および接続ケーブルは、しっかりと差し込んでください。記録中にケーブルが外れると、データが破壊されることがあります。
- ACアダプタをご使用になるときはACアダプタキットK-AC8Jの使用説明書をあわせてご覧ください。
- DC端子を接続するときは、必ず「◀」マークを合わせてください。無理に差し込むと破損の恐れがあります。

バッテリー充電スタンドとACアダプタの使用上の注意

バッテリー充電スタンドとACアダプタを使用する場合は、火災や感電に十分ご注意ください。
ご使用の前に、必ず「ご注意ください」(p.1)をお読みください。
バッテリー充電スタンドとACアダプタの仕様については、p.135をご覧ください。

SDメモリーカードをセットする

このカメラでは、SDメモリーカードが使用できます。撮影した画像は、SDメモリーカードまたは内蔵メモリに記録されます。カードをセットして撮影したとき（液晶モニタに⎕が表示されます）はカードに、カードをセットしていないとき（液晶モニタに⎕が表示されます）は内蔵メモリに記録されます。

注意
- SDメモリーカードをセットするときや取り出すときは、必ず電源をオフにしてください。
- 未使用品や他のカメラで使用したSDメモリーカードは、必ずフォーマットしてからご使用ください。フォーマットについては「SDメモリーカード／内蔵メモリをフォーマットする」(p.116) をご覧ください。

1 バッテリー／カードカバーを開ける

①の方向に引き出してから②の方向に引き上げます。

2 SDメモリーカードのラベル（▲印のある）面を液晶モニタ側に向け、カチッと音がするまで押し込む

3 バッテリー／カードカバーを閉じる

カードを取り出すときは、カードを矢印の方向に押し込みます。カードが少し飛び出すので、カードを引き抜いて取り出してください。

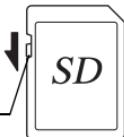
撮影できる画像の枚数は、使用するSDメモリーカードまたは内蔵メモリの容量と画像の記録サイズ、画質によって異なります。（☞p.22）

データバックアップのおすすめ

内蔵メモリに記憶したデータは、まれに読み出しができなくなることがあります。大切なデータはパソコンなどを利用して、内蔵メモリとは別の場所に保存しておくことをおすすめします。

SDメモリーカード使用上の注意

- カードカバーを開けるときは、必ず電源を切った状態で行ってください。
- SDメモリーカードには、ライトプロテクトスイッチが付いています。スイッチを「LOCK」側に切り替えると、新たにデータを記録、消去またはカードのフォーマットをすることが禁止され、それまで保存したデータが保護されます。

ライトプロテクトスイッチ

- カメラ使用直後にSDメモリーカードを取り出すと、カードが熱くなっている場合がありますのでご注意ください。
- SDメモリーカードへのデータ記録中や、画像・音声の再生中、またはUSBケーブルでパソコンと接続中には、カードを取り出したり電源を切ったりしないでください。データの破損やカードの破損の原因となります。
- SDメモリーカードは、曲げたり強い衝撃を与えないでください。また、水に濡らしたり、高温になる場所に放置しないでください。
- 未使用または他のカメラで使用したカードは、必ずフォーマットしてからご使用ください。フォーマットについては「SDメモリーカード／内蔵メモリをフォーマットする」（p.116）をご覧ください。
- SDメモリーカードのフォーマット中には絶対にカードを取り出さないでください。カードが破損して使用できなくなることがあります。
- SDメモリーカードに保存したデータは、以下の条件で消去される場合がありますので、ご注意ください。消去されたデータについては、当社では一切の責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
  (1) 使用者がSDメモリーカードの取り扱いを誤ったとき
  (2) SDメモリーカードを静電気や電気ノイズのある場所に置いたとき
  (3) 長期間カードを使用しなかったとき
  (4) SDメモリーカードにデータ記録中、またはデータ読み出し中にカードを取り出したり、ACアダプタやバッテリーを抜いたとき
- SDメモリーカードには寿命があります。長期間使用しない場合は、保存したデータが読めなくなることがあります。必要なデータは、パソコンなどへ定期的にバックアップを取るようにしてください。
- 静電気や電気ノイズの発生しやすい場所での使用や、保管は避けてください。
- 急激な温度変化や、結露が発生する場所、直射日光のあたる場所での使用や保管は避けてください。
- 一部の書込み速度の遅いSDメモリーカードでは、動画撮影時にカードに空き容量があっても途中で撮影が終了したり、撮影・再生時に動作が遅くなる場合があります。
- SDメモリーカードご購入の際は、あらかじめ動作確認済みのものであるかを当社ホームページでご確認いただくか、お客様相談センターにお問い合わせください。

記録サイズと画質

画像の記録サイズと画質は、画像の用途に応じて設定します。
記録サイズの数値や画質の★の数は、多くなるほどプリントしたときに鮮明な画像が得られますが、画像の容量が増えるので、撮影できる枚数は少なくなります。なお、大きな記録サイズで高画質にした場合、撮影後の記録に十数秒かかることがあります。

画像の記録サイズと画質の設定は、「撮影」メニューで行います。

メニューの操作方法☞p.36
記録サイズを選択する☞p.73
画質を選択する☞p.74

● 選べる記録サイズと適した用途

記録サイズ	↑ 鮮明、きれい	用途
2560×1920		フォトプリントなどの高画質印刷、A4以上の大判プリント、画像編集・加工など
2048×1536		
1600×1200		
1024×768		はがきサイズプリント
640×480		ホームページ掲載、電子メール添付など

初期設定では、2560×1920が選択されています。

● 選べる画質と適した用途

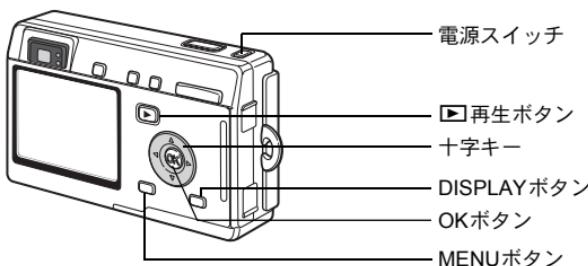
★★★	S.ファイン	圧縮率が最も低く、A4サイズなど大きな写真のプリントなどに適しています。
★★	ファイン	圧縮率が標準で、写真のプリントおよびパソコンの画面で画像を見るときに適しています。
★	エコノミー	圧縮率が最も高く、電子メールへの添付やホームページ作成用に適しています。

初期設定では、★★が選択されています。

● 記録サイズ／画質と撮影可能枚数の目安

記録サイズ ＼ 画質	★★★ S.ファイン	★★ ファイン	★ エコノミー	動画 (320×240)
2560×1920	約18枚	約36枚	約61枚	約5分32秒
2048×1536	約30枚	約56枚	約82枚	
1600×1200	約51枚	約88枚	約123枚	
1024×768	約112枚	約206枚	約268枚	
640×480	約247枚	約386枚	約515枚	

- 表の数値は、64MBのSDメモリーカードを使用した場合の枚数です。
- この数値は、当社で設定した標準撮影条件によるもので、被写体、撮影状況、撮影モード、使用するSDメモリーカードなどにより変わります。

初期設定をする

カメラの電源を入れたときに、以下のような画面が表示されたら、☞の手順に従って初期設定をしてください。

［Initial Setting（初期設定）の画面が表示された場合］
☞p.23～24「言語を設定する」「日時を設定する」
［日時設定の画面が表示された場合］
☞p.24～25「日時を設定する」

上記のような画面が表示されない場合は、初期設定をする必要はありません。

言語を設定する

使用する言語を日本語に設定します。

1　十字キー（◀▶）を押して、「日本語」を選ぶ

「日本語」を選んだときに「都市」、「夏時間」が右図のように表示されていたら、手順6に進んでください。

2 十字キー（▼）を押す

緑の四角枠（選択枠）が「都市」に移動します。

3 十字キー（◀▶）を押して、「TYO（東京）」を表示させる

4 十字キー（▼）を押す

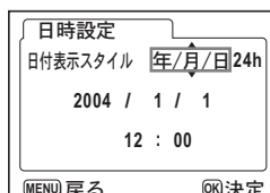
5 十字キー（◀▶）を押して、☑を□に設定する

6 OKボタンを押す

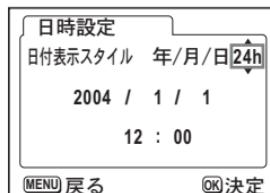
「日時設定」画面が表示されます。

日時を設定する

日付の表示スタイルと現在の日付、時刻を設定します。

1 十字キー（▲▼）を押して、日付の表示スタイルを設定する

2 十字キー（▶）を押す

「24h」の上下に▲▼が表示されます。

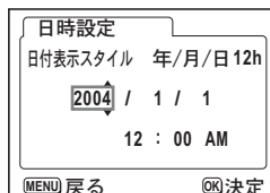
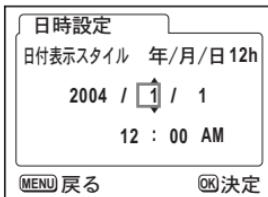
3 十字キー（▲▼）を押して、24h（24時間表示）または12h（12時間表示）を設定する

4 十字キー（▶）を押す

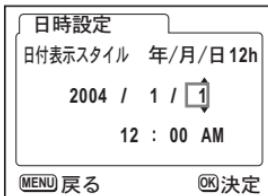
「西暦年」の上下に▲▼が表示されます。

5 十字キー（▲▼）を押して、西暦年を設定する

6 十字キー（▶）を押す

「月」の上下に▲▼が表示されます。

日時設定
日付表示スタイル　年/月/日 12h
2004 / 1 / 1
12 : 00 AM
MENU 戻る　OK 決定

7 十字キー（▲▼）で月を設定し、十字キー（▶）を押す

「日」の上下に▲▼が表示されます。

8 手順7を繰り返して、「日」「時」「分」を設定する

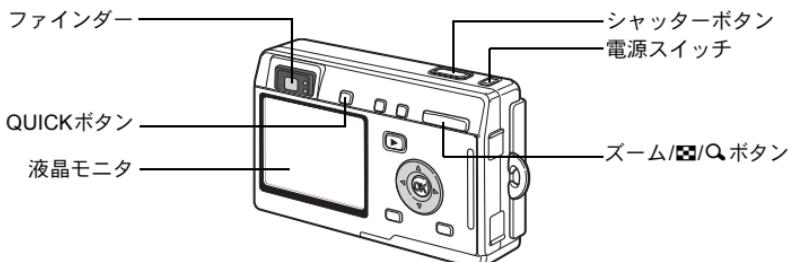
手順3で「12h」を選択した場合は、時刻調整に連動してAM/PMが切り替わります。

9 設定が終了したら、OKボタンを押す

撮影できる状態になります。メニュー操作で設定した場合はメニュー画面に戻りますので、もう一度OKボタンを押してください。

- 日時の設定終了後、OKボタンを押すと、0秒にセットされます。
- 時報に合わせてOKボタンを押すと、秒単位まで正確な日時設定が行えます。

- 初期設定の途中で MENU ボタンを押すと、それまで設定した内容がキャンセルされますが、撮影することはできます。この場合は、次回電源を入れたときに再度、初期設定を行う画面が表示されます。
- ここで設定した内容は、設定後メニュー操作で変更することができます。メニューの呼び出しかたは「日時を変更する」（p.118）をご覧ください。

静止画を撮影する

最も簡単な静止画の撮影方法を説明します。ストロボは明るさに応じて自動的に発光します。

1 電源スイッチを押す

電源がオンになります。

2 液晶モニタを確認する

フォーカスフレーム

液晶モニタの中央のフォーカスフレームの中が、自動でピントが合う範囲です。
ズーム/⊞/🔍ボタンを押すと被写体の大きさが変わります。
♠ ：被写体が大きく写ります。
♠♠♠：被写体が小さく写ります。
ファインダーをのぞいて、被写体の大きさを確認することもできます。

- フォーカスフレームはファインダー内には表示されません。ピントを合わせる範囲は、必ず液晶モニタで確認してください。
- QUICK ボタンを押すと、すべての撮影条件をカメラが自動設定するグリーンモードに切り替わります。グリーンモードでは、最も簡単にきれいな写真が撮れます。（すばやく簡単に撮影する☞p.40）

3 シャッターボタンを半押しする

ピントが合うと、液晶モニタのフォーカスフレームが緑色に変わります。

4 シャッターボタンを押す

撮影した画像が液晶モニタに1秒間表示（クイックビュー）されます。
撮影した画像はSDメモリーカード、または内蔵メモリに保存されます（保存中はファインダー横の緑ランプと赤ランプが交互に点滅します）。

シャッターボタンの押しかた

シャッターボタンは「半押し」と「全押し」の2段階になっています。

半押し

シャッターボタンを軽く押した状態です。ピント位置、露出がロックされます。シャッター速度、絞り値は、シャッターボタンを半押ししたときだけ表示されます。半押しのとき、液晶モニタやステータスランプ、ストロボランプは次のような情報を表します。

1. フォーカスフレーム

ピントが合うと緑色の枠が点灯します。ピントが合っていないときは、枠が表示されません。

2. ステータスランプとストロボランプ

	ステータスランプ（緑）	ストロボランプ（赤）
点灯	ピントが合っています	ストロボ発光表示
点滅	ピントが合っていません	ストロボ充電中

ストロボ充電中は撮影できません。

全押し

シャッターボタンを下まで押した状態です。撮影が行われます。

[ピント合わせの苦手な条件]

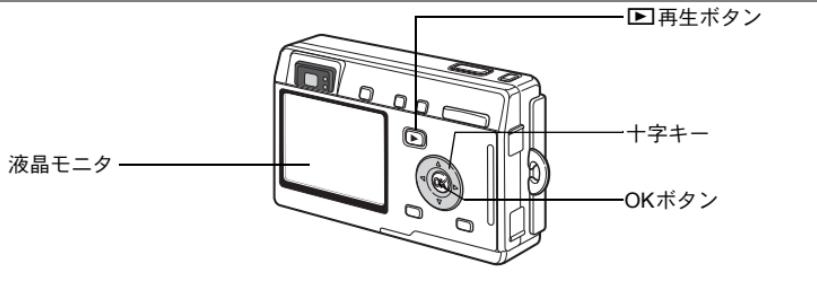
写したいものが下の例のような条件にある場合は、ピントが合わないことがあります。こんなときはいったん撮りたいものと同じ距離にあるものにピントを固定(シャッターボタン半押し)し、その後構図を撮りたい位置に戻してシャッターを切ります。

- 青空や白壁など極端にコントラストが低いもの
- 暗い場所、あるいは真っ暗なものなど、光の反射しにくい条件
- 細かい模様の場合
- 非常に速い速度で移動しているもの
- 遠近のものが同時に存在する場合
- 反射の強い光、強い逆光(周辺が特に明るい場合)

クイックビュー

撮影直後に画像が表示される「クイックビュー」の表示時間は、初期設定では1秒間に設定されています。クイックビュー表示中に🗑ボタンを押すと、消去画面が表示されます。「消去」を選びOKボタンを押すと、その画像を消去することができます。（☞p.97）
また、クイックビュー表示中にOKボタンを押すと、「ボイスメモ」により音声を録音することができます。（☞p.89）

クイックビューの表示時間を設定する☞p.80

静止画を再生する

画像を再生する

静止画を再生します。

1　撮影後に▶再生ボタンを押す

撮影した画像が液晶モニタに表示されます。

拡大して再生する☞p.90

前後の画像を再生する

静止画を前後に1枚ずつ送って再生します。

1　撮影後に▶再生ボタンを押す

撮影した画像が液晶モニタに表示されます。

2　十字キー（◀▶）を押す

◀ 前の画像が表示されます。

▶ 次の画像が表示されます。

表示された画像を回転表示する

再生時に画像を回転表示できます。拡大再生時やスライドショウ再生時にも回転表示されます。

1　撮影後に▶再生ボタンを押す

撮影した画像が液晶モニタに表示されます。

2　十字キー（▼）を押す

1回押すごとに、画像が時計回りに90°ずつ回転します。このときMENUボタンを押すと、回転せずに通常再生に戻ります。

3　OKボタンを押す

回転情報が記憶され、通常再生に戻ります。

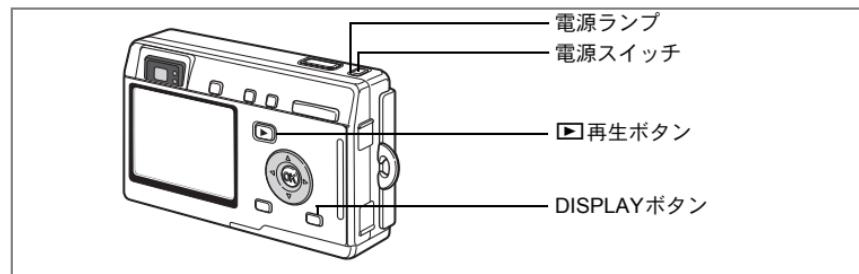
表示した画像を消去するには

画像表示中に🗑ボタンを押すと、消去画面が表示されます。十字キー（▲）を押して「消去」を選び、OKボタンを押すとこの画像を消去することができます。
もう一度▶再生ボタンを押すか、シャッターボタンを半押しすると、撮影できる状態に戻ります。

ファイルNo.

- 再生モードに切り替えると最後に撮影した画像が最初に表示されます。
- 液晶モニタに表示された画像は、ズーム/⊞/🔍ボタンで拡大して見ることができます。
- 画像が保存されていないときは、「画像・音声がありません」と表示されます。

画像・動画・音声を消去する☞p.96

電源をオン／オフする

1 電源スイッチを押す

電源ランプ（電源スイッチの周り）が緑色に点灯し、レンズが繰り出されて撮影モードで起動します。
シャッターを押せばすぐに写真が撮れる状態です。

- **再生ボタンを押すと、レンズが前に出たまま保存されている写真を見られる再生モードになります。**
- **再生ボタンを2秒以上押し続けると、レンズが収納された再生モードになります。**

2 もう一度電源スイッチを押す

電源がオフになります。

撮影モードと再生モードを切り替える☞p.66

撮影する☞p.40

再生モードで電源をオンにする

1 再生ボタンを押しながら、電源スイッチを押す

電源ランプが緑色に点灯し、レンズは収納されたまま再生モードで起動します。

- **再生ボタンを押すとレンズが繰り出され、撮影モードになります。**
- **撮影モードで再生ボタンを2秒以上押し続けるか、ボイスレコーディングモードで再生ボタンを押すと、レンズが収納されたまま再生モードになります。**

静止画を再生する☞p.28

ボイスレコーディングモードで電源をオンにする

カメラをボイスレコーダーとして利用できます。
ボイスレコーディングモードで起動するには、次の2通りの方法があります。

1 電源スイッチを 2 秒以上押す

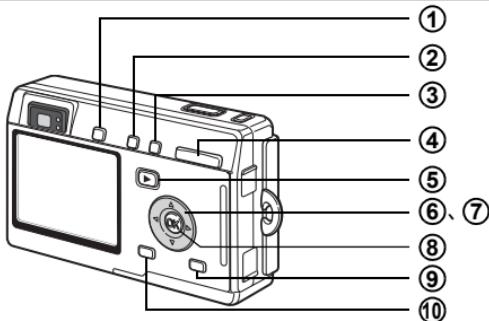
電源ランプがいったん緑色に点灯したのち、赤色に点灯し、ボイスレコーディングモードで起動します。

1 DISPLAYボタンを押しながら、電源スイッチを押す

電源ランプが赤色に点灯し、ボイスレコーディングモードで起動します。

- **▶再生ボタンを押すと、再生モードになります。**

音声を録音する☞p.87

ボタンの機能を使用する

撮影モード時

① **QUICKボタン**
最も簡単に撮影ができるグリーンモードに切り替えます。(☞p.40)
「⚙詳細設定」メニューの「QUICKボタン」で他の機能を割り当てることもできます。(☞p.124)

② **⚡ボタン**
ストロボの発光方法を切り替えます。(☞p.72)

③ **🌷▲MFボタン**
被写体にピントを合わせる方法を次のように切り替えます。(☞p.69)
マクロモード(☞p.69)　スーパーマクロモード(☞p.69)
パンフォーカスモード(☞p.69)　遠景モード(☞p.69)
マニュアルフォーカスモード(☞p.70)　AFエリア移動モード(☞p.71)

④ **ズームボタン**
被写体の大きさを変えます。(☞p.26)

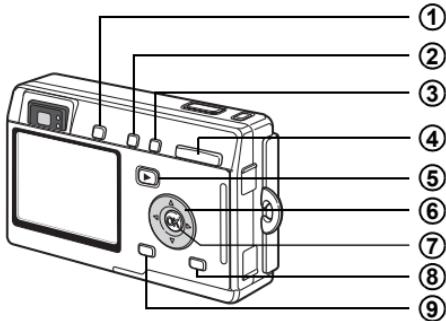
⑤ **▶再生ボタン**
再生モードに切り替えます。もう一度押すと撮影モードに戻ります。(☞p.28)

⑥ **十字キー(◀▶)**
露出補正をします。(☞p.84)
「⚙詳細設定」メニューの「カスタム機能」で他の機能を割り当てることもできます。(☞p.123)
デジタルフィルタの「スリムフィルタ」を設定したときは縦横比を調整します。(☞p.49)

⑦　十字キー（▲▼）
（▲）セルフタイマー撮影、リモコン撮影、連続撮影を選びます。
（▼）モードパレットを表示して撮影モードを切り替えます。
（▲▼）マニュアルフォーカスモードでピントを合わせます。（☞p.70）

⑧　OKボタン
メニュー項目を決定します。（☞p.36）

⑨　DISPLAYボタン
液晶モニタに表示される情報を切り替えます。（☞p.68）

⑩　MENUボタン
「撮影」「再生」「詳細設定」のメニューを表示します。（☞p.36）

再生モード時

① **QUICKボタン**
最も簡単に撮影ができるグリーンモードに切り替えます。（☞p.40）
「🔧詳細設定」メニューの「QUICKボタン」で他の機能を割り当てることもできます。（☞p.124）

② **🗑ボタン**
再生中の画像を消去します。（☞p.96）

③ **O‒ボタン**
再生中の画像を消去できないようにします。（☞p.99）

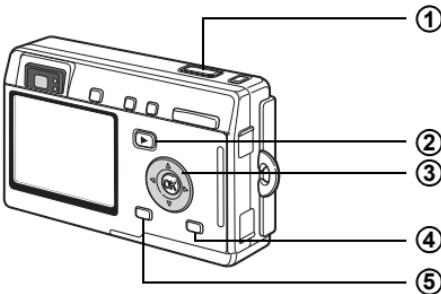
④ **ズーム/⊞/🔍ボタン**
「通常再生」時に⊞を押すと、一度に9画像を表示します。（☞p.94）
「拡大再生」時には、液晶モニタに表示される画像の大きさを変えます。（☞p.90）

⑤ **▶再生ボタン**
撮影モードに切り替えます。

⑥ **十字キー**
（▲）プリントサービス用のDPOFの設定をします。（☞p.102）
（◀▶）前後の画像を表示します。（☞p.28）
（▼）画像を回転して表示します。（☞p.29）

⑦ **OKボタン**
メニュー項目を決定します。（☞p.36）
ボイスメモを録音、再生します。（☞p.89）

⑧ **DISPLAYボタン**
液晶モニタに表示される情報を切り替えます。（☞p.93）

⑨ **MENUボタン**
「📷撮影」「▶再生」「🔧詳細設定」のメニューを表示します。（☞p.36）

ボイスレコーディングモード時

① **シャッターボタン**
ボタンを押すと録音を開始し、もう一度押すと録音を停止します。
１秒以上押し続けると、押している間だけ録音し、ボタンを離すと録音を停止します。

② **▶再生ボタン**
再生モードに切り替えます。（☞p.30）もう一度押すと録音モードに戻ります。

③ **十字キー（再生モード時）**
（▲）再生を開始します。もう一度押すと、再生を一時停止します。
（◀▶）再生中は、次の動作をします。再生前は録音したファイルを選びます。
　インデックスがない場合
　　再生中に（◀）を押すと約5秒戻ります。
　　再生中に（▶）を押すと約5秒進みます。
　インデックスがある場合
　　再生中に（◀）を押すと前のインデックス位置から再生します。
　　再生中に（▶）を押すと次のインデックス位置から再生します。

④ **DISPLAYボタン**
液晶モニタをオフ（消灯）にします。もう一度押すと点灯します。

⑤ **MENUボタン**
録音中に押すと、録音中の音声にインデックスを付けることができます。
録音待機中、録音再生前に押すと、「▶再生」、「詳細設定」のメニュー項目を表示します。（☞p.36）

メニューを操作する

MENUボタンを押すと、液晶モニタにメニューが表示されます。メニューを使用して、機能の設定や設定した内容の保存、カメラの設定変更などができます。

メニューの操作方法

メニュー操作中は、液晶モニタにガイドが表示されます。

1　MENUボタンを押す

撮影モードでは「◘撮影」メニューが表示され、再生モードでは「▶再生」メニューが表示されます。
選択されている部分は緑の四角い選択枠で表示されます。

2　十字キー（◀▶）を押す

メニュー画面が切り替わります。

3　十字キー（▲▼）で項目を選択する

選択枠が上下に移動します。

4　十字キー（◀▶）で設定を切り替える

4'　選択画面があるときは、十字キー（▶）で選択画面に移行する

設定が終了したら、OKボタンでメニュー画面に戻ります。

5　OKボタンを押す

設定が保存され、撮影または再生できる状態に戻ります。

- OKボタンを押して設定を保存する前に、OKボタン以外のボタンを押してメニュー画面を閉じると、設定は保存されません。
- OKボタンを押してメニュー画面を終了しても、電源をオンにしたまま電池を取り出したりするなど誤った操作で電源をオフにすると、設定は保存されません。
- メニュー画面を表示させてから1分間何も操作しないと、メニュー画面が終了します。

操作の例

1 MENUボタン

3

3 **4**

3 **4'**

選択画面

3

次のメニュー画面

メニュー表示中にシャッターボタンを半押しすると撮影モードに切り替わりますが、設定は保存されません。

メニュー一覧

「撮影」メニュー

○…設定の変更がすべて撮影動作に反映します。
×…設定の変更は無効です。メニュー画面上では設定を変更できますが、撮影の動作には反映されません。

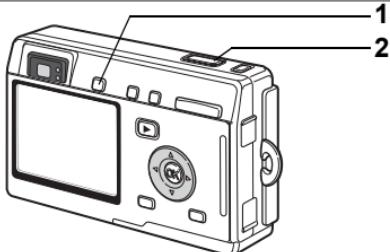
項目	内容	初期設定	グリーンモード	動画モード	その他のモード	参照
記録サイズ	画像の画素数が選べます。	2560×1920	×	320×240に固定	○	p.73
画質	画像の圧縮率が選べます。	★★	×	×	○	p.74
ホワイトバランス	撮影時の光の状態に合わせて色を調整します。	AWB（オート）	×	○	○	p.75
AFエリア	オートフォーカスの対象になる範囲を変更します。	〔　〕（マルチ）	×	×	○	p.77
測光方式	露出を決定する測光方式を設定します。	（分割）	×	○	○	p.78
感度	感度を設定します。	オート	×	×	○	p.79
露出補正	－2.0～＋2.0の間で露出を補正します。	±0.0	×	○	○	p.84
立体視法	3D写真の鑑賞方法を設定します。	平行法	×	×	○（3Dのみ）	p.54
早送り動画	動画撮影のフレームレートを設定します。	オフ	×	○	×	p.65
デジタルズーム	デジタルズーム撮影ができます。	オン	×	○	○	p.63
クイックビュー	クイックビューの表示時間を設定します。	1秒	×	×	○	p.80
モードメモリ	電源オフ時に撮影機能の設定値をメモリします。	－	×	○	○	p.85
シャープネス	シャープネスを設定します。	標準	×	×	○	p.81
彩度	彩度を設定します。	標準	×	×	○	p.82
コントラスト	コントラストを設定します。	標準	×	×	○	p.83

「▶再生」メニュー

項目	内容	参照
スライドショウ	保存された画像を連続して再生します。	p.95
リサイズ	画像のサイズを変更します。	p.109
トリミング	画像をトリミングします。	p.111
画像・音声コピー	内蔵メモリとSDメモリーカード間でファイルをコピーします。	p.112
アラーム	決まった時刻にアラームを鳴らします。	p.126
ボイスメモの録音	画像にボイスメモを付けるかどうかを設定します。	p.89
クイック拡大	ズーム/⊞/🔍ボタンを1回押すだけで画面を最大拡大倍率で再生するように設定します。	p.91
クイック消去	オンに設定すると「消去」「全画像」が選択された状態で消去画面が表示されます。	p.97

「🔧詳細設定」メニュー

項目	内容	参照
フォーマット	SDメモリーカードまたは内蔵メモリを初期化します。	p.116
サウンド	音量、起動音、シャッター音、操作音を設定します。	p.117
日時設定	日付・時刻、表示スタイルを設定します。	p.118
ワールドタイム	ワールドタイムを設定します。	p.119
Language/言語	メニューやメッセージを表示する言語を切り替えます。	p.120
画面設定	背景色と電源を入れたときの起動画面を設定します。	p.114
ビデオ出力	ビデオ出力方式を設定します。	p.121
USB接続	USB接続モードを変更します。	p.121
スリープ	節電機能を設定します。	p.122
オートパワーオフ	自動的に電源が切れるようにします。	p.122
カスタム機能	十字キー（◀▶）に機能を登録します。	p.123
QUICKボタン	QUICKボタンに機能を登録します。	p.124
リセット	設定を初期値に戻します。	p.125

撮影する

すばやく簡単に撮影する（グリーンモード）

シャッターボタンを押すだけですばやく簡単に撮影できるモードです。■（グリーンモード）では、シャッター速度や絞り値などすべての設定をカメラが自動的に設定します。ズームボタンはユーザーが操作できます。

1　撮影モード、再生モードで、QUICKボタンを押す

撮影モード、再生モードのどんな状態からでも、グリーンモードに切り替わります。もう1回QUICKボタンを押すと、グリーンモードに入る前の撮影モードに戻ります。

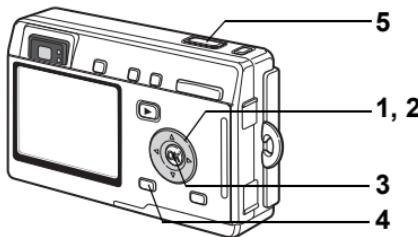
2　シャッターボタンを半押しする

ピントが合うと、液晶モニタのフォーカスフレームが緑色に変わります。

3　シャッターボタンを押す

撮影されます。

- グリーンモードでカメラの電源を切ると、次回はグリーンモードで起動します。グリーンモード専用の起動画面が表示されます。
- グリーンモードでMENUボタン、DISPLAYボタン、OKボタン、十字キーのいずれかを操作すると、液晶モニタに🔒が表示され、操作が無効であることを示します。

静止画を撮影する☞p.26

機能を設定して撮影する（プログラムモード）

P（プログラムモード）では、シャッター速度と絞り値をカメラが自動的に設定して静止画を撮影します。ストロボの発光方式や連続撮影などその他の機能は自由に設定できます。

1　撮影モードで十字キー（▼）を押す

モードパレットが表示されます。

2　十字キー（▲▼◀▶）で、P（プログラムモード）を選ぶ

P　3D　SOFT　USER
プログラム　OK決定

3　OKボタンを押す

4　必要に応じて使用する機能を設定する

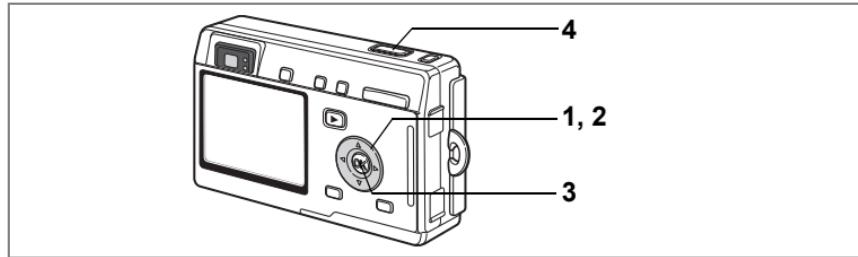
機能の設定のしかたは、「撮影のための機能を設定する」（p.66～p.84）をご覧ください。

5　シャッターボタンを半押しする

ピントが合うと、液晶モニタのフォーカスフレームが緑色に変わります。

6　シャッターボタンを押す

撮影されます。

静止画を撮影する☞p.26

シーンに合わせた撮影をする（ピクチャーモード）

撮りたいシーンに合わせた設定で撮影します。ピクチャーモードには、次の11のモードがあります。

🏔	風景	風景写真をきれいに仕上げます。
✿	花	花の写真をきれいに仕上げます。
☺	ポートレート	人物写真をきれいに仕上げます。
✋📷	セルフポートレート	自分撮りやツーショット写真をきれいに仕上げます。
⛄	サーフ&スノー	砂浜や雪山などの背景の明るい場所での写真をきれいに仕上げます。
✱	紅葉	紅葉の写真をきれいに仕上げます。
🌅	夕景	夕焼けや朝焼けの写真を美しく描写します。
🏛	美術館	美術館の作品をきれいに仕上げます。
📄	テキスト	文字をくっきりときれいに仕上げます。
🍴	料理	テーブル上を見たままに鮮やかに仕上げます。
🏃	スポーツ	シャッター速度を速くして、被写体のブレを軽減します。

1　撮影モードで十字キー（▼）を押す
モードパレットが表示されます。

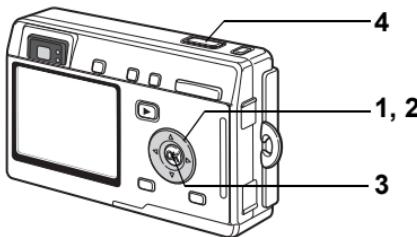
2　十字キー（▲▼◀▶）で、撮影モードを選ぶ
例として🏔（風景モード）を選択します。

3　OKボタンを押す

4　シャッターボタンを半押しする
ピントが合うと、液晶モニタのフォーカスフレームが緑色に変わります。

5　シャッターボタンを押す
撮影されます。

ピクチャーモード

ピクチャーモードでは、露出補正、彩度、コントラスト、シャープネス、ホワイトバランスが自動的に各モードの初期値に設定されます（設定値は変更することができます）。

暗いシーンを撮影する（夜景モード）

夜景など暗いシーンに適切な設定で、撮影します。

1　撮影モードで十字キー（▼）を押す

モードパレットが表示されます。

2　十字キー（▲▼◀▶）で、（夜景モード）を選ぶ

3　OKボタンを押す

4　シャッターボタンを半押しする

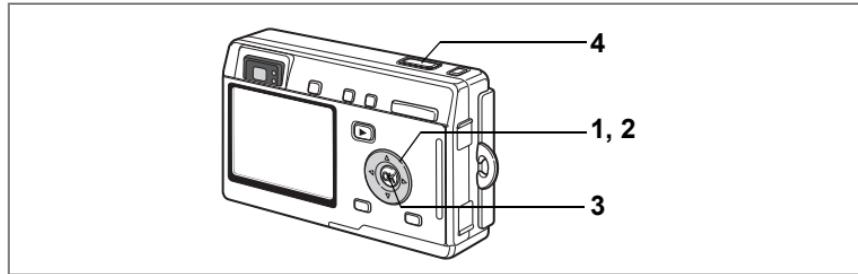
ピントが合うと、液晶モニタのフォーカスフレームが緑色に変わります。

5　シャッターボタンを押す

撮影されます。

メモ　遅いシャッター速度での撮影では、撮影後に画像からノイズを取り除く機能が働くため、記録時間が長くなります。

暗いシーンでの撮影ではシャッター速度が遅くなりますので、手ぶれしないよう、カメラを三脚などに固定して撮影してください。

4 撮影

動画を撮影する（動画モード）

動画を撮影します。音声も同時に記録されます。

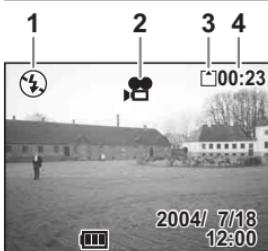
1 撮影モードで十字キー（▼）を押す

モードパレットが表示されます。

2 十字キー（▲▼◀▶）で、（動画モード）を選ぶ

3 OKボタンを押す

以下の撮影情報が液晶モニタに表示され、動画撮影が行える状態になります。

1 発光禁止マーク　**2** 動画モードアイコン
3 カード／内蔵メモリ
4 撮影可能時間

4 シャッターボタンを押す

撮影を開始します。ズームボタンで画像の大きさを切り替えることができます。
：被写体が大きく写ります。
：被写体が小さく写ります。

5 シャッターボタンを押す

撮影を終了します。

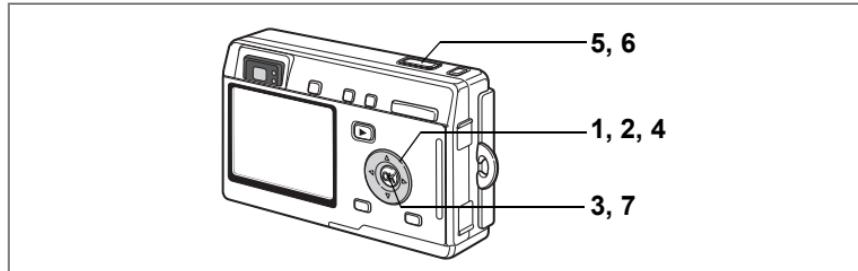
シャッターボタンを押し続けて撮影する

シャッターボタンを1秒以上押し続けると、シャッターボタンを押し続けている時間だけ撮影されます。シャッターボタンから指を離すと撮影が終了します。

- 動画モードでは、ストロボは発光しません。
- 動画モードでは、連続撮影はできません。
- 動画モードでは、液晶モニタをオフにできません。
- 早送り動画がオンのときは、音声の記録はできません。
- 動画モードで設定できるフォーカスモードは、「オートフォーカスモード」「遠景モード」「マニュアルフォーカスモード」のみです。また、オートフォーカスモードでは、ピントが固定になります。
- 動画モードでは光学ズームとデジタルズームのいずれも使用できますが、撮影中はデジタルズームのみが使えます。デジタルズーム撮影時は、液晶モニタを使用してください。
- 専用の防水ケース（別売）を使って動画を撮影するときは、マリンムービーモードで撮影します。

早送り動画を撮影する☞p.65

水中で動画を撮影する☞p.53

動画を再生する☞p.92

パノラマ撮影をする（パノラマアシストモード）

付属のソフトウェア（ACDSee for PENTAX）を使って何枚かの写真をつなぎ合わせたパノラマ写真を簡単に作成することができます。パノラマアシストモードを選択すると、あとでパノラマ写真合成が行いやすいよう、画像の端と端が重なるように撮影することができます。

1　撮影モードで十字キー（▼）を押す

モードパレットが表示されます。

2　十字キー（▲▼◀▶）で、▮▮▮（パノラマアシストモード）を選ぶ

3　OKボタンを押す

4　十字キーでつなげる方向を選ぶ

◀画像を左につなぎます。
▶画像を右につなぎます。
▲画像を上につなぎます。
▼画像を下につなぎます。
ここでは▶を選んだ場合について説明します。

5 1枚目の画像を撮影する

シャッターボタンを押すと1枚目の画像が撮影され、1枚目の画像の右端が液晶モニタの左端に透過表示されます。

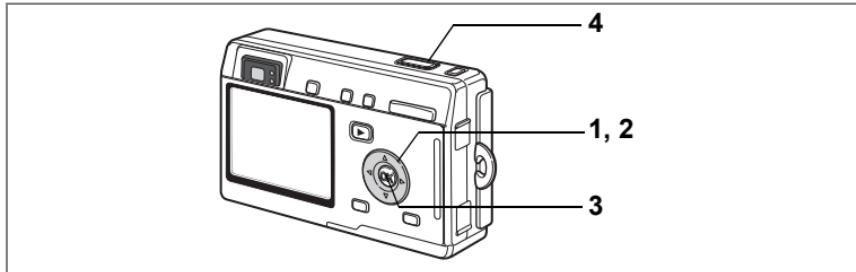
6 カメラを右に移動し2枚目の画像を撮影する

実画像表示が左端の透過表示に重なるようにカメラを移動し、シャッターを切ります。3枚目以降の画像も、手順5、6を繰り返して撮影します。

7 OKボタンを押す

手順４の画面に戻ります。

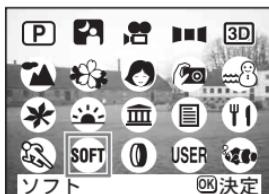
パノラマ撮影を中止するには、パノラマアシストモード以外のモードに切り替えてください。

- パノラマ合成はカメラ本体ではできません。付属のソフトウェア（ACDSee for PENTAX、ACD photostitcher）を使用します。パノラマ合成については、別冊の「デジタルカメラで撮影した画像をパソコンで楽しむには」を参照してください。
- パノラマアシストモードでは、連続撮影はできません。

ソフトな写真を撮影する（ソフトフォーカスモード）

ソフトレンズを使用して撮影したような、柔らかな描写で撮影します。

1　撮影モードで十字キー（▼）を押す

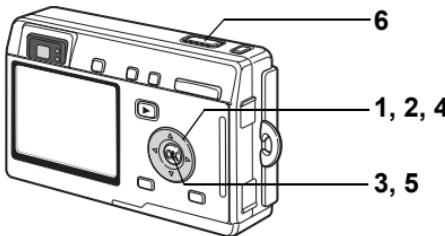
モードパレットが表示されます。

2　十字キー（▲▼◀▶）で、SOFT（ソフトフォーカスモード）を選ぶ

3　OKボタンを押す

4　シャッターボタンを半押しする

ピントが合うと、液晶モニタのフォーカスフレームが緑色に変わります。

5　シャッターボタンを押す

ソフトフォーカスモードで撮影されます。

フィルタを設定して撮影する（デジタルフィルタモード）

デジタルフィルタには、赤、青、緑などさまざまな色をした色フィルタと、塗り絵のような効果を出すポスタリゼーション、スリム効果を出すスリムフィルタがあります。デジタルフィルタモードでは、これらのフィルタを使用して撮影することができます。

色フィルタを設定して撮影する

1　撮影モードで十字キー（▼）を押す

モードパレットが表示されます。

2　十字キー（▲▼◀▶）で、（デジタルフィルタモード）を選ぶ

3　OKボタンを押す

フィルタを選ぶ画面が表示されます。

4　十字キー（▲▼）で色フィルタを選ぶ

色フィルタは、白黒、セピア、赤、桃色、紫、青、緑、黄色の8種類から選択することができます。各フィルタの効果（色味）は、フィルタを選択した際、液晶モニタで確認できます。

5　OKボタンを押す

6　シャッターボタンを半押しする

ピントが合うと、液晶モニタのフォーカスフレームが緑色に変わります。

7　シャッターボタンを押す

撮影されます。

ポスタリゼーション（）を設定して撮影する

色の階調を減らし、塗り絵のような効果を出します。

4　十字キー（▲▼）で、（ポスタリゼーション）を選ぶ

5　OKボタンを押す

6　シャッターボタンを半押しする

ピントが合うと、液晶モニタのフォーカスフレームが緑色に変わります。

7　シャッターボタンを押す

ポスタリゼーションで撮影されます。

スリムフィルタ（）を設定して撮影する

デジタルフィルタモードでスリムフィルタを選ぶと、スリム度を設定する画面が表示されます。

4　十字キー（▲▼）で、（スリムフィルタ）を選ぶ

5　十字キー（◀▶）で、スリム度を設定する

：画像を横方向に最大 2 倍までひきのばします。

：画像を縦方向に最大2倍までひきのばします。

6　OKボタンを押す

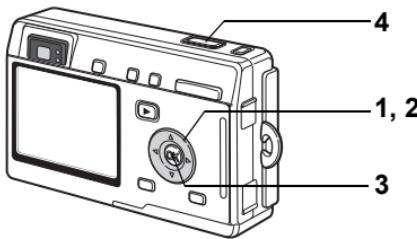
7　シャッターボタンを半押しする

ピントが合うと、液晶モニタのフォーカスフレームが緑色に変わります。

8　シャッターボタンを押す

スリムフィルタがかかった写真が、撮影されます。

スリムフィルタ使用時には、デジタルズームは使用できません。

4
撮影

機能を自由に設定して撮影する（ユーザーモード）

ユーザーモードでは、あらかじめユーザーモードに登録しておいた機能や設定で撮影をすることができます。

1 撮影モードで十字キー（▼）を押す

モードパレットが表示されます。

2 十字キー(▲▼◀▶)でUSER(ユーザーモード）を選ぶ

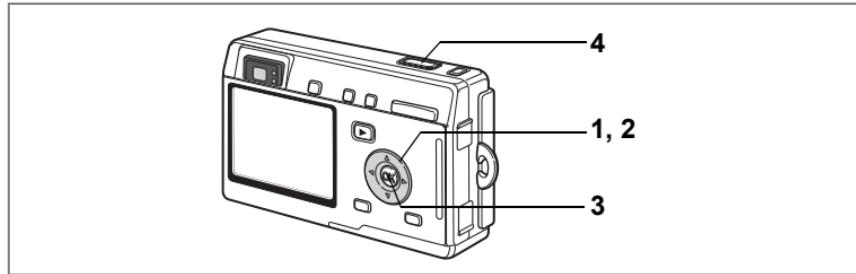
3 OKボタンを押す

4 シャッターボタンを半押しする

ピントが合うと、液晶モニタのフォーカスフレームが緑色に変わります。

5 シャッターボタンを押す

撮影されます。

ユーザーモードに機能を登録する☞p.86

水中で撮影する（マリンモード）

別売りの専用防水ケースを使って水中で撮影するとき、海辺や水中での写真をきれいに撮影できるモードです。

水中で静止画を撮影する（マリンモード）

1　撮影モードで十字キー（▼）を押す

モードパレットが表示されます。

2　十字キー（▲▼◀▶）で、（マリンモード）を選ぶ

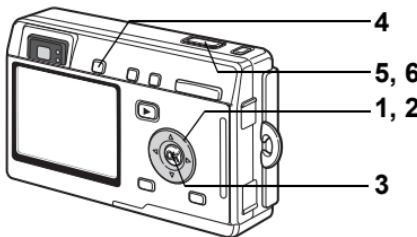
3　OKボタンを押す

4　シャッターボタンを半押しする

ピントが合うと、液晶モニタのフォーカスフレームが緑色に変わります。

5　シャッターボタンを押す

撮影されます。

- ストロボは強制発光、または発光禁止のどちらかのみ選べます。オート発光や赤目補正は選べません。
- ドライブモードは、1枚撮影、または連続撮影のどちらかのみ選べます。セルフタイマー撮影、リモコン撮影は選べません。
- フォーカスモードは、オート、またはマクロモードのどちらかのみ選べます。

水中で動画を撮影する（マリンムービーモード）

1　撮影モードで十字キー（▼）を押す

モードパレットが表示されます。

2　十字キー（▲▼◀▶）で、（マリンモード）を選ぶ

3　OKボタンを押す

マリンモードの撮影画面になります。

4　QUICKボタンを押す

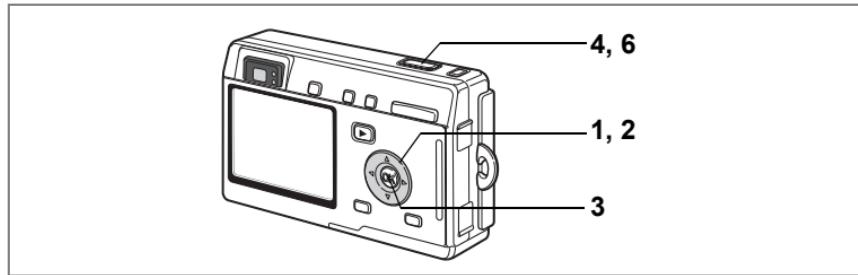
（マリンムービーモード）に切り替わります。再度QUICKボタンを押すと、（マリンモード）に戻ります。

5　シャッターボタンを押す

撮影を開始します。ズームボタンで画像の大きさを変えることができます。

6　シャッターボタンを押す

撮影を終了します。

- マリンムービーモードでは音声は録音できません。
- マリンモードでは、QUICK ボタンの機能は、マリンモードとマリンムービーモードとの切り替え専用となります。マリンモード以外では、「詳細設定」メニューの「QUICKボタン」で設定した機能が使用できます。（☞p.124）

3D写真を撮影する（3D撮影モード）

横に並んだ2枚の写真を特殊な方法で見ると立体的に見える、3D写真を撮影します。
3D写真を見る方法には、平行法と交差法がありますが、初期設定では平行法用の3D写真が撮影されます。平行法用に撮影した3D写真は、3Dイメージビュワー（別売）を使って見ることができます。
また、交差法用の3D写真を撮ることもできます。交差法での撮影への切り替えは、「立体視法を選ぶ」（p.55）を参照してください。

1　撮影モードで十字キー（▼）を押す

モードパレットが表示されます。

2　十字キー（▲▼◀▶）で、3D（3D撮影モード）を選ぶ

3　OKボタンを押す

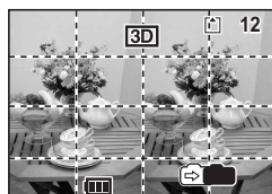
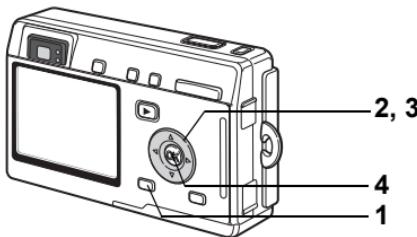
液晶モニタの左側に1枚目の画像を撮影するための画面が表示されます。

4　1枚目の画像を撮影する

被写体が左側画面の中央に入るようにしてシャッターボタンを押します。液晶モニタの左側に撮った画像が表示され、右側に2枚目の画像を撮影するための画面が表示されます。

5　撮影姿勢を変えずに右に移動する

6　2枚目の画像を撮影する

被写体が画面右側の中央に入るようにしてシャッターボタンを押します。

立体視法を選ぶ

1 MENUボタンを押す

「撮影」メニューが表示されます。

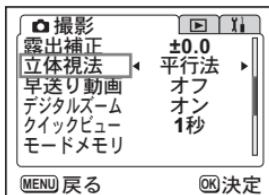
2 十字キー（▲▼）を押して「立体視法」を選ぶ

3 十字キー（◀▶）で「平行法」か「交差法」を選ぶ

3Dイメージビュワーで見るときは、「平行法」を選択してください。
なお、「平行法」「交差法」ともに裸眼で楽しむこともできます。

撮影
露出補正 ±0.0
立体視法 ◀ 平行法 ▶
早送り動画 オフ
デジタルズーム オン
クイックビュー 1秒
モードメモリ
MENU 戻る　OK 決定

4 OKボタンを押す

撮影モード画面に戻ります。

- 3D撮影を中止する場合は、3D撮影モード以外のモードに切り替えてください。
- 1つの被写体を2回撮影するので、動くものを撮影しても3D画像は撮影できません。人物を撮影するときは、動かないように声をかけ、すばやく2枚目の撮影を行いましょう。三脚や適当な台を利用すれば、容易に右に水平移動できます。
- カメラの移動量は被写体までの距離の 1/40 程度が目安です。たとえば、被写体までの距離が3mあれば、移動量は3m÷40=7.5cmとなります。立体感の見えかたには個人差がありますので、あまり難しく考えず、下記の表を参考にしていろいろ移動距離を変えて撮影してみましょう。

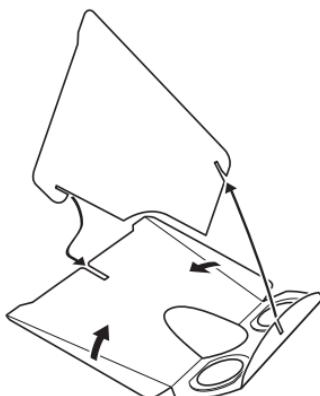
被写体までの距離	0.1m	0.3m	0.5m	1m	3m	5m
カメラの移動距離	0.5cm	1cm	1.5cm	2.5cm	7.5cm	13cm

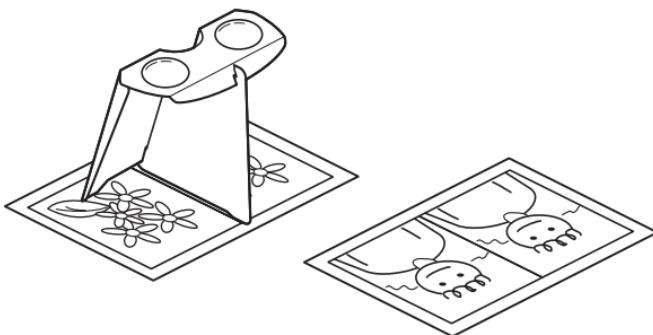
平行法と交差法による3D写真

人間の目は左右に約6cm～7cm離れているため、左右それぞれの目には微妙に角度のズレた景色が写っています。この左右の見えかたを脳が処理することにより、立体的に見えます。この原理を応用した撮影方法および写真の観察方法が3D写真です。

3D写真を観察する方法としては、左右の視線をほぼ平行にして（遠くを見るように）見る「平行法」と、左右の視線を交差させて見る「交差法」があります。なお、ビュワーを使わずに3D写真を観察するためには多少の練習が必要になる場合があります。

3Dイメージビュワーの組み立てかた

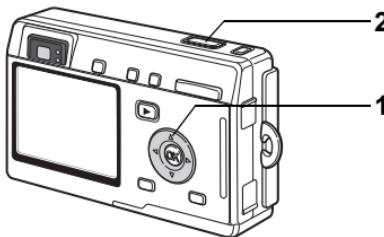
別売りの3Dイメージビュワーは、次のように組み立ててお使いください。

3Dイメージビュワーを使った3D写真の観察方法

横幅が11cmから12cm程度になるようにプリントし、2枚の画像の中心に3Dイメージビュワーの仕切りを合わせて3D写真を観察します。

人間の左右の目の間隔には個人差があるため、同じ大きさのプリントを見ても立体視が困難な場合があります。特にプリントサイズが大きすぎたり、小さすぎたりすると立体視は非常に困難になります。何度かプリントを試してみて、立体視しやすい大きさを見つけてください。

- 3Dイメージビュワーで絶対に太陽はのぞかないでください。
- 3Dイメージビュワーを直接日光の当たる場所に放置しないでください。火災の原因となる恐れがあります。

4

撮影

3D写真（交差法）の参考例

セルフタイマーを使って撮影する

シャッターボタンを押してから、10秒後、または2秒後に撮影します。

1　撮影モードで十字キー（▲）を押して、液晶モニタに⏲または⏲2sを表示させる

2　シャッターボタンを押す

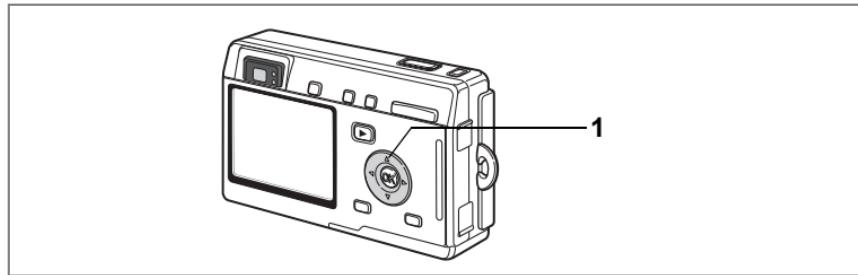
⏲ セルフタイマーが起動し、セルフタイマーランプが約7秒間点灯します。セルフタイマーランプが点滅をはじめてから約3秒後に撮影されます。

⏲2s セルフタイマーが起動し、セルフタイマーランプが点滅をはじめてから約2秒後に撮影されます。

セルフタイマーランプの点滅中に構図を変えると、ピントが合わなくなります。

- 液晶モニタをオンにすると、カウントダウン表示されます。
- カウントダウン表示中に MENU ボタンなどいずれかのボタンを押すと、セルフタイマーは解除されます。
- 3D撮影モードでは、1回目の撮影、2回目の撮影でそれぞれカウントダウンを行います。

セルフポートレートを撮影する☞p.42

こんなときには「ピントが合わない」☞p.133

リモコンを使って操作する（別売）

ドライブモードをリモコン撮影に切り替え、リモートコントロールEまたはF（別売）を使って撮影が可能です。

4
撮影

リモコンを使って撮影する

1　撮影モードで十字キー（▲）を押して、液晶モニタに 3s または を表示させる

セルフタイマーランプがゆっくり点滅し、リモコンで撮影できる状態になります。

2　リモコンのシャッターボタンを押す

3s　セルフタイマーランプが速く点滅し、約3秒後に撮影されます。
　すぐに撮影されます。

セルフタイマーランプの点滅中に構図を変えると、ピントが合わなくなります。

リモコンを使ってズームを変更する

リモートコントロールE（別売）では、シャッターボタンによる撮影のほか、ズームボタンを使ってズーム倍率を変えることができます。

1　撮影モードで十字キー（▲）を押して、液晶モニタに 3s または を表示させる

3s でも でも動作は同じです。

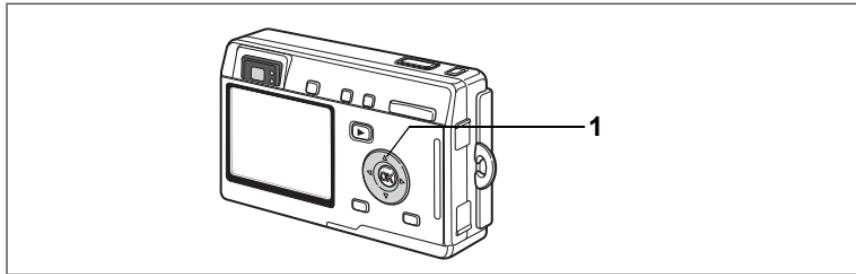
2　リモコンのズームボタンを押す

押すたびにズーム位置が望遠、中間、広角の3段階で切り替わります。

フォーカスモードがスーパーマクロモードに設定されているときは、ズームボタンを押してもズーム位置は変わりません。

- 本体のボタンは、通常と同じように操作できます。
- リモコンの届く距離は、カメラ正面から約4m程度です。
- リモコンを使ってズームを変更できるのは、光学ズーム域のみです。デジタルズーム域は使えません。

リモコン用電池の寿命

リモコンからカメラへ約30,000回信号を送信することができます。電池の交換は最寄りのペンタックスお客様窓口にご相談ください。（交換は有料になります）

連続して撮影する（連続撮影）

ドライブモードを連続撮影に切り替えます。シャッターボタンを押している間、連続して撮影できます。

1　撮影モードで十字キー（▲）を押して液晶モニタに⧉を表示させる

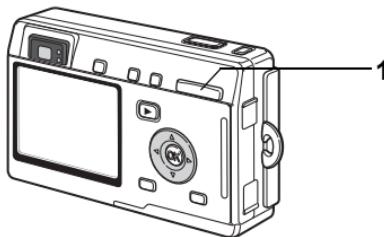
2　シャッターボタンを半押しする

ピントが合うと、液晶モニタのフォーカスフレームが緑色に変わります。

3　シャッターボタンを押す

シャッターボタンを押している間、連続して撮影されます。
シャッターボタンを離すと、撮影が終了します。

- SDメモリーカードまたは内蔵メモリの容量がいっぱいになるまで、連続撮影できます。
- 連続撮影の間隔は、記録サイズや画質の設定によって異なります。

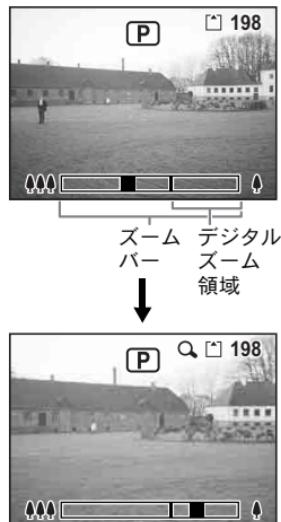
- 連続撮影では、ストロボは発光しません。
- 3D 撮影モード、動画モード、パノラマアシストモードでは、連続撮影はできません。
- ピント、露出、ホワイトバランスは1枚目で固定されます。

ズームを使って被写体の大きさを変える

撮影する範囲の望遠／広角を調整し、被写体の大きさを変えて撮影できます。

1 撮影モードでズームボタンを押す

デジタルズーム時

♠ 望遠：被写体が大きく写ります。
♠♠♠ 広角：被写体が小さく写ります。

デジタルズーム機能がオフのときは、3倍までの光学ズーム撮影となります。デジタルズーム機能がオンのときは、被写体をさらに最大12倍相当まで拡大して撮影できます。

設定したズーム位置を保存する☞p.85

動画撮影中は光学ズームは使用できません。

デジタルズーム機能をオンにする

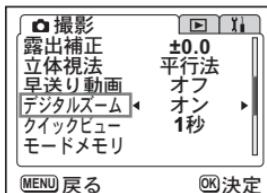
1　撮影モードでMENUボタンを押す

「撮影」メニューが表示されます。

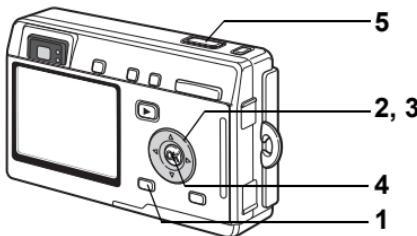
2　十字キー（▲▼）を押して「デジタルズーム」を選ぶ

3　十字キー（◀▶）で「オン」を選ぶ

4　OKボタンを押す

撮影できる状態になります。

- 液晶モニタをオフにすると、デジタルズーム機能がオンの状態でも、デジタルズームはオフになります。
- デジタルフィルタでスリムフィルタを選択している場合、デジタルズームは使用できません。

デジタルズームを使用する場合は、液晶モニタで構図を合わせてください。

デジタルズーム機能のオン／オフを保存する☞p.85

早送り動画を撮影する

早送り動画を設定すると、動画撮影の際のフレームレート（1秒間に撮るコマ数）を少なくして動画を撮影します。撮影した動画を再生すると、被写体が早送りされているように見えます。

1　動画撮影モードまたはマリンムービーモードでMENUボタンを押す

「撮影」メニューが表示されます。

2　十字キー（▲▼）を押して「早送り動画」を選ぶ

3　十字キー（◀▶）で「オフ（×1)」「×2」「×5」「×10」「×20」「×50」「×100」を切り替える

4　OKボタンを押す

5　シャッターボタンを押す

早送り動画撮影が始まります。

- オフ（×1）は通常の動画設定です（毎秒15フレーム)。×2、×5と選ぶごとに1秒間に撮影される回数は1/2、1/5と減少していきます。
- 動画再生は常に15フレーム毎秒ですので、×2で撮影したものは2倍に、×5で撮影したものは5倍の速さで早送り再生されるように見えます。
- 音声は録音されません。

動画を撮影する☞p.44

水中で動画を撮影する☞p.53

撮影のための機能を設定する

モードを切り替える

撮影ができる状態を撮影モード、再生や消去ができる状態を再生モードといいます。

撮影モードと再生モードを切り替える

- 撮影モードから再生モードへは、▶再生ボタンを押して切り替えます。
- 再生モードから撮影モードへは、▶再生ボタンを押すか、シャッターボタンを半押しして切り替えます。

撮影モード

グリーンモードはQUICKボタンで、その他の撮影モードは、モードパレットで選択します。

撮影モード

	モード		説明	ページ
	グリーンモード		すばやく、簡単に撮影できます。	p.40
P	プログラムモード		一般的な撮影に向いています。	p.41
	夜景モード		夜景など暗いシーンを撮影します。	p.43
	動画モード		動画を撮影します。	p.44
	パノラマアシストモード		付属のソフトでパノラマ写真を作成するための画像を撮影します。	p.46
3D	3D撮影モード		3D画像を撮影します。	p.54
	ピクチャーモード	風景	風景写真をきれいに仕上げます。	p.42
		花	花の写真をきれいに仕上げます。	
		ポートレート	人物写真をきれいに仕上げます。	
		セルフポートレート	自分撮りやツーショット写真をきれいに仕上げます。	
		サーフ&スノー	砂浜や雪山などの背景の明るい場所での写真をきれいに仕上げます。	
		紅葉	紅葉の写真をきれいに仕上げます。	
		夕景	夕焼けや朝焼けの写真を美しく仕上げます。	
		美術館	美術館の作品をきれいに仕上げます。	
		テキスト	文字をくっきりときれいに仕上げます。	
		料理	テーブル上を見たままに鮮やかに仕上げます。	
		スポーツ	シャッター速度を速くして、被写体のブレを軽減します。	

SOFT	ソフトフォーカスモード	ソフトレンズを使用して撮影したような柔らかな画像に仕上げます。	p.48
(デジタルフィルタアイコン)	デジタルフィルタモード	色フィルタ、ポスタリゼーション、スリムフィルタを設定して撮影します。	p.49
USER	ユーザーモード	各種の機能を設定しておくと、電源を入れるたびにその設定で動作します。	p.51
(マリンアイコン)	マリンモード	専用の防水ケースを使用するとき、海辺や水中での写真をきれいに仕上げます。	p.52

グリーンモードを選ぶ

1 QUICKボタンを押す

撮影モード、再生モード、メニュー画面のどこからでもグリーンモードに切り替わります。

QUICKボタンに別の機能を割り当てているときは、グリーンモードは選択できません。（☞p.124）

グリーンモード以外の撮影モードを選ぶ

1 撮影モードで十字キー（▼）を押す

モードパレットが表示されます。

2 十字キー（▲▼◀▶）で設定したいモードのアイコンを選ぶ

アイコンが緑の選択枠で囲まれます。

3 OKボタンを押す

選んだモードで撮影できる状態になります。

4

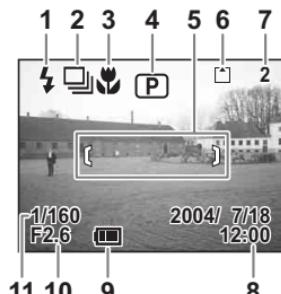
撮影

撮影情報を表示する

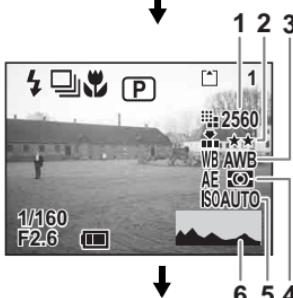
撮影モード時にDISPLAYボタンを押すと、現在の撮影条件などの表示（ディスプレイモード）が切り替わります。

通常表示

電源をオンしたときの状態です。撮影情報を表示します。

1	ストロボモード	**2**	ドライブモード
3	フォーカスモード	**4**	撮影モード
5	フォーカスフレーム	**6**	カード／内蔵メモリ
7	撮影可能残量	**8**	日時
9	バッテリー残量表示	**10**	絞り値
11	シャッター速度		

ヒストグラム表示

明度分布を表示します。横軸は明るさ（左端が最も暗く、右端が最も明るい）、縦軸はピクセル数を表わします。

1	記録サイズ	**2**	画質
3	ホワイトバランス	**4**	測光方式
5	感度	**6**	ヒストグラム

情報表示なし

撮影情報を表示しません。

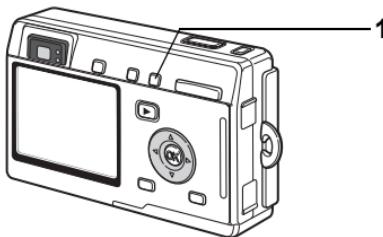
- オートフォーカス時には、フォーカスフレームが表示されます。
- 設定を変更したときは、数秒間、設定内容を表示します。

液晶モニタオフ

液晶モニタをオフにします。

- 、 、 、 、 では、液晶モニタオフはできません。
- では、ヒストグラム表示はできません。

液晶モニタの表示モードを保存する☞p.85

通常表示

フォーカスの設定を変える

フォーカスモード

（表示なし）	オートフォーカスモード	シャッターボタンを半押ししたときにAFエリアにあるものに、ピントを合わせます。被写体までの距離が40cm以上のときに使用します。
🌷	マクロモード	被写体までの距離が約18cm～50cmのときに使用します。シャッターボタンを半押ししたときにAFエリアにあるものに、ピントを合わせます。
s🌷	スーパーマクロモード	被写体までの距離が約6cm～20cmのときに使用します。シャッターボタンを半押ししたときにAFエリアにあるものに、ピントを合わせます。
PF	パンフォーカスモード	近くの被写体と遠景を一緒に写すときに使用します。ピントが一定の場所に固定されます。
▲	遠景モード	遠くにあるものを撮影するときに使用します。
MF	マニュアルフォーカスモード	手動でピントを合わせます。
◀AF▶	AFエリア移動モード	オートフォーカスの対象となる範囲（AFエリア）の位置を変更します。

フォーカスモードを保存する☞p.85

1 撮影モードで🌷▲MFボタンを押す

押すたびにフォーカスモードが切り替わり、アイコンが液晶モニタに表示されます。
設定したフォーカスモードで撮影できる状態になります。

- フォーカスモードの初期値は「オートフォーカスモード」です。
- 「スーパーマクロモード」では、ズームが中間位置に固定され、デジタルズームのみ使用できます。
- 動画モード（☞p.44）では、「オートフォーカスモード」「遠景モード」「マニュアルフォーカスモード」のみになります。
- 「スーパーマクロモード」では、ストロボは発光しません。

フォーカスモードを「マクロモード」「スーパーマクロモード」に設定しているときは、ファインダーを見ながら撮影すると、撮影範囲がずれます。必ず液晶モニタで確認してください。

マニュアルでフォーカスを設定する

MF（マニュアルフォーカスモード）に設定すると、ピント調節時、画面中央部が液晶モニタいっぱいに拡大表示されます。十字キー（▲▼）を押すと、液晶モニタにインジケータが表示されます。これを目安に、十字キー（▲▼）で画面のピントを合わせます。

遠くにピントが合います。

近くにピントが合います。

インジケータ

フォーカス位置が決まり、OKボタンを押すとフォーカス位置が確定され、通常の撮影画面に切り替わります。
再度OKボタンを押すと、確定したフォーカス位置を変更できます。

設定しているときに、十字キー（▲▼）を押し続けると、速くピント合わせができます。

ピントの合う位置を変える

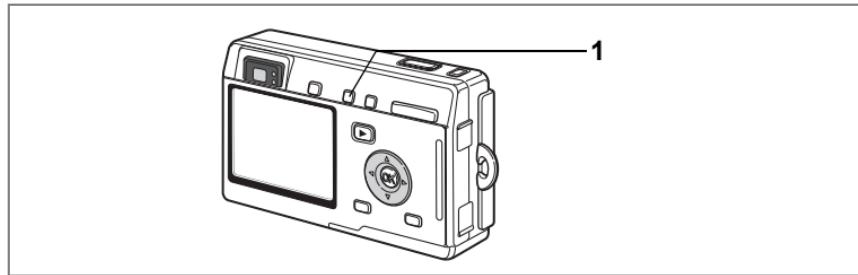
オートフォーカスモードでは、フォーカスフレームを移動させてピントの合う位置を変更することができます。

1　(AFエリア移動モード）で十字キー（▲▼◀▶）を押す

〔 〕（AFエリア）が移動します

2　シャッターボタンを半押しする

AFエリアが確定します。AFエリアを元の位置に戻すには、再度 MFボタンを押します。

こんなときは「ピントが合わない」☞p.133

ストロボの発光方法を選択する

ストロボの発光方法

(表示なし)	オート	暗いときや逆光のときにストロボを発光します。
⊘	発光禁止	暗いときや逆光のときでも発光しません。夕景撮影やストロボの使えない場所（美術館など）での撮影にご利用ください。
ϟ	強制発光	明るさにかかわらず、常にストロボを発光します。
赤目A	オート＋赤目軽減	ストロボの光が目に反射して、赤く写るのを軽減します。自動的にストロボを発光します。
赤目ϟ	強制発光＋赤目軽減	ストロボの光が目に反射して、赤く写るのを軽減します。 常にストロボを発光します。

- 撮影モードが （動画モード）または （マリンムービーモード）にセットされているか、連続撮影または遠景モード、スーパーマクロモードに設定されているときは、常に発光禁止になります。
- ストロボ発光の際、2回のプリ発光（予備発光）の後、3回目の発光で撮影を行います（赤目軽減機能を使用した場合は、プリ発光と3回目の発光の間隔が長くなります）。

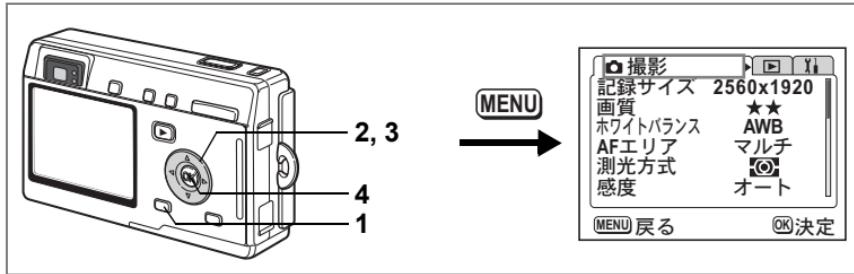
1 撮影モードで ϟ ボタンを押す

押すたびに発光方法が切り替わり、液晶モニタにアイコン表示されます。
設定したストロボ発光方法で撮影ができる状態になります。

ステータスランプとストロボランプの状態☞p.27

ストロボ発光方法を保存する☞p.85

「マクロモード」でストロボを使用すると、画像が白トビ（露出オーバー）になることがあります。

4 撮影

記録サイズを選択する

画像の記録画素数を「2560 × 1920」「2048 × 1536」「1600 × 1200」「1024×768」「640×480」から選択します。
画素数が多くなるほど、画像が大きくなり容量も増えます。また、画像の容量は画質の設定（☞p.74）によっても異なります。

記録サイズ

記録サイズ		用途
2560×1920	↑ 鮮明、きれい	フォトプリントなどの高画質印刷、A4以上の大判プリント、画像編集・加工など
2048×1536		
1600×1200		
1024×768		はがきサイズプリント
640×480		ホームページ掲載、電子メール添付など

1　撮影モードでMENUボタンを押す

「撮影」メニューが表示されます。

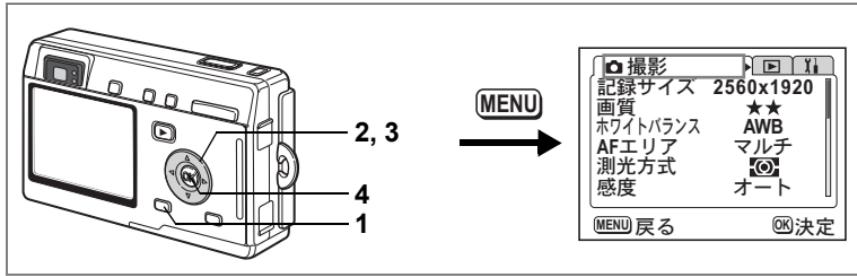
2　十字キー（▲▼）を押して「記録サイズ」を選ぶ

3　十字キー（◀▶）で記録サイズを切り替える

4　OKボタンを押す

撮影ができる状態になります。

- 「動画モード」では「320×240」に固定されます。
- 記録サイズを大きくすると、プリントしたときに、より鮮明な画像が得られます。
- 記録サイズの設定は、電源をオフにしても保持されます。

記録サイズと画質☞p.22

画質を選択する

画像の圧縮率が選べます。
★の数が多いほど、画像はきれいになり容量が増えます。なお、画像の容量は、記録サイズの設定（☞p.73）によっても異なります。

画質

★★★	S.ファイン	圧縮率が最も低く、写真用のプリントなどに適しています。
★★	ファイン	圧縮率が標準で、パソコンの画面で画像を見るときに適しています。
★	エコノミー	圧縮率が最も高く、電子メールへの添付やホームページ作成用に適しています。

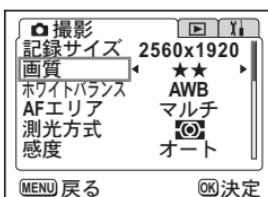
1　撮影モードでMENUボタンを押す

「撮影」メニューが表示されます。

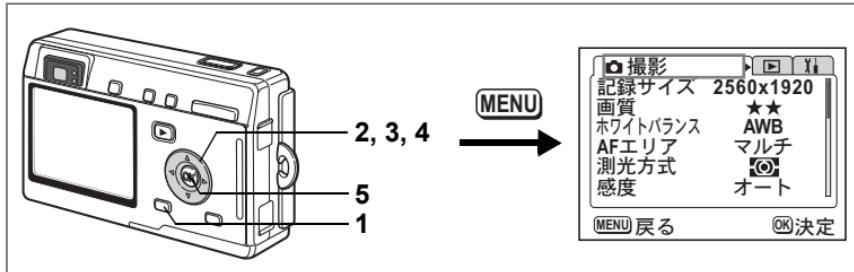
2　十字キー（▲▼）を押して「画質」を選ぶ

3　十字キー（◀▶）で画質を切り替える

4　OKボタンを押す

撮影ができる状態になります。

画質の設定は、電源をオフにしても保持されます。

記録サイズと画質☞p.22

4 撮影

ホワイトバランスを調整する

撮影時の光の状態に応じて画像を自然な色あいに調整する方法を選択します。

ホワイトバランス

AWB	オート	調整をカメラにまかせます。
	太陽光	太陽の下で撮影するときに設定します。
	曇天	曇天で撮影するときに設定します。
	日陰	日陰で撮影するときに設定します。
	白熱灯	電球など白熱灯で照明されたものを撮影するときに設定します。
NW	蛍光灯（昼白色＆白色）	昼白色蛍光灯、白色蛍光灯のもとで撮影するときに設定します。
D	蛍光灯（昼光色）	昼光色蛍光灯のもとで撮影するときに設定します。
	マニュアル	手動で調整して撮影するときに設定します。

1　撮影モードでMENUボタンを押す

「撮影」メニューが表示されます。

2　十字キー（▲▼）を押して「ホワイトバランス」を選ぶ

3　十字キー（▶）を押す

ホワイトバランス選択画面が表示されます。

4　十字キー（▲▼◀▶）で設定を選ぶ

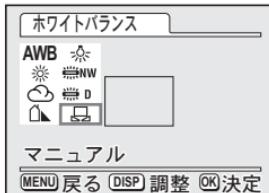
5　OKボタンを2回押す

撮影できる状態になります。

ホワイトバランスを保存する☞p.85

マニュアルで設定する

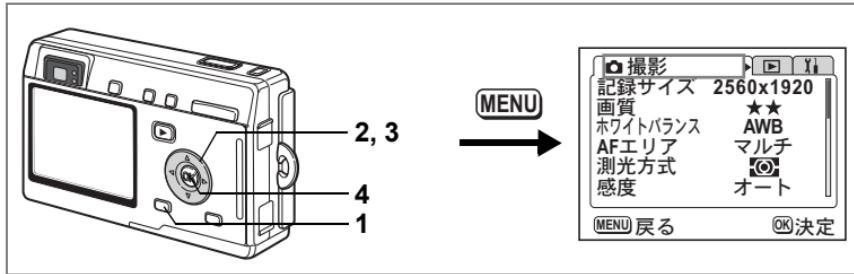
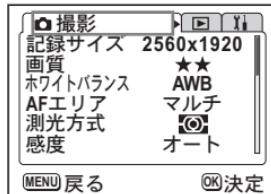
あらかじめ、白い紙などホワイトバランスの調整に用いる素材を用意しておきます。

1 「ホワイトバランス」選択画面で 󠄀(マニュアル)を選ぶ

2 ホワイトバランスの調整に用いる素材(白い紙など)にレンズを向け、液晶モニタいっぱいに表示されるよう、カメラを構える

3 DISPLAYボタンを押す

ホワイトバランスが自動的に調整されます。
ホワイトバランスが自動調整されると、液晶モニタに「完了」と表示され、メニュー画面に戻ります。

4 OKボタンを押す

撮影できる状態に戻ります。

オートフォーカス範囲を設定する

オートフォーカスの対象となる範囲（AFエリア）を設定します。

AFエリア

マルチ	通常範囲に設定します。
スポット	フォーカスが合う範囲を狭くします。

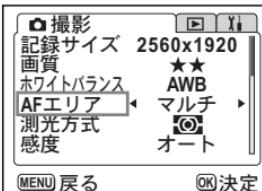
1 撮影モードでMENUボタンを押す

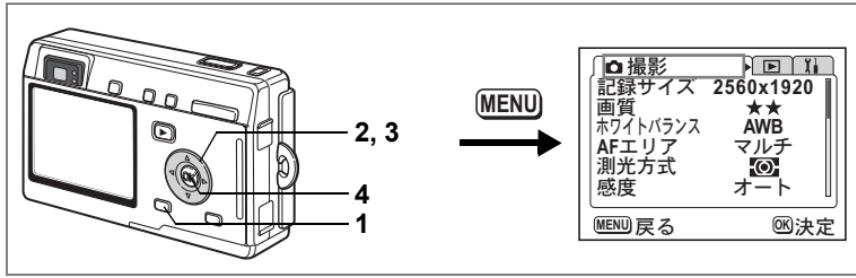
「撮影」メニューが表示されます。

2 十字キー（▲▼）を押して「AFエリア」を選ぶ

3 十字キー（◀▶）でAFエリアを切り替える

4 OKボタンを押す

撮影できる状態に戻ります。

AFエリアは、ファインダー内には表示されません。AFエリアを利用したピント合わせや、AFエリアの設定を行う場合は、必ず液晶モニタで確認してください。

AFエリアの設定を保存する☞p.85

測光方式を設定する

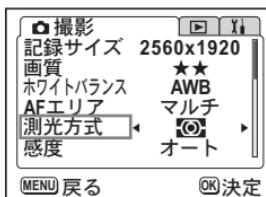
画面のどの部分で明るさを測り、露出を決定するのかを設定します。

測光方式

[分割アイコン]	分割	画面全体をきめ細かく測光して露出を決定します。
[中央部重点アイコン]	中央部重点	画面中央を重点的に測光して露出を決定します。
[スポットアイコン]	スポット	画面の中央のみを測光して露出を決定します。

1 撮影モードでMENUボタンを押す

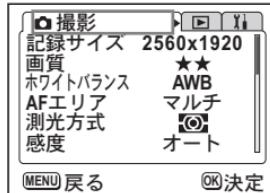
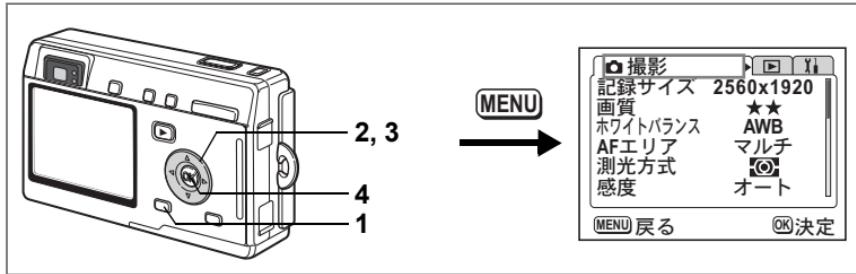
「撮影」メニューが表示されます。

2 十字キー（▲▼）を押して「測光方式」を選ぶ

3 十字キー（◀▶）で測光方式を選ぶ

4 OKボタンを押す

撮影できる状態になります。

スポット測光では、AFエリア移動に連動して測光ポイントが移動します。（☞p.71）

測光方式を保存する☞p.85

感度を設定する

撮影する場所の明るさに応じて、感度を設定します。

感度

オート	設定をカメラにまかせます。(Auto)
80	• 感度が低い(数字が小さい)ほど、ノイズの少ないシャープな画像が得られます。暗い場所ではシャッター速度が遅くなります。 • 感度が高い(数字が大きい)ほど、暗い場所でもシャッター速度を速くできます。画像にはノイズが増えます。
100	
200	
400	

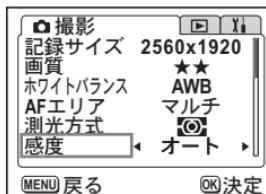
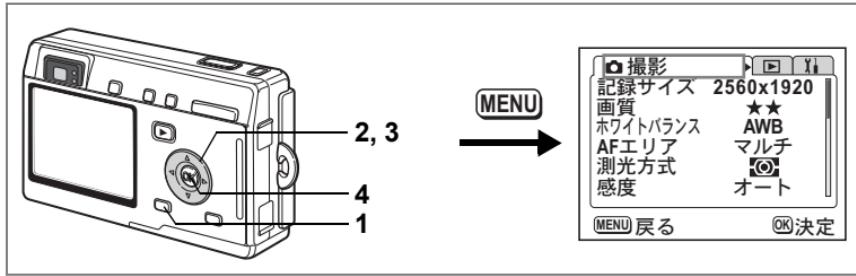
1　撮影モードでMENUボタンを押す

「撮影」メニューが表示されます。

2　十字キー(▲▼)を押して「感度」を選ぶ

3　十字キー(◀▶)で感度を選ぶ

4　OKボタンを押す

撮影できる状態になります。

感度を保存する☞p.85

クイックビューの時間を設定する

クイックビュー（撮影直後の画像表示）の表示時間を0.5秒、1秒、2秒、3秒、4秒、5秒、オフ（表示しない）から選択します。

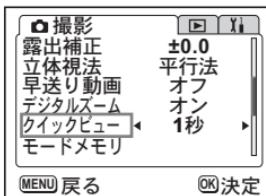
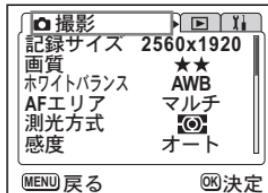
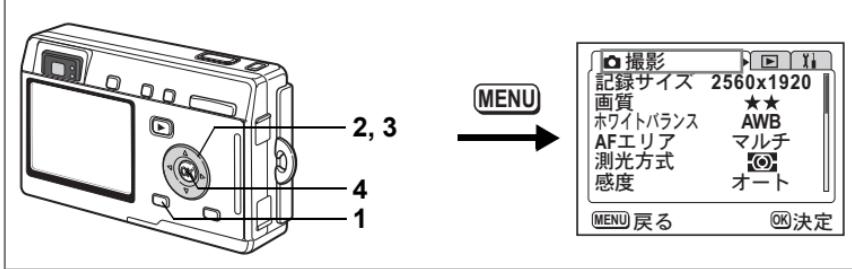
1　撮影モードでMENUボタンを押す

「撮影」メニューが表示されます。

2　十字キー（▲▼）を押して「クイックビュー」を選ぶ

3　十字キー（◀▶）で表示時間を選ぶ

4　OKボタンを押す

撮影できる状態になります。

クイックビューの設定は、電源をオフにしても保持されます。

シャープネスを設定する

画像の輪郭をハードまたはソフトにします。

1　撮影モードでMENUボタンを押す

「撮影」メニューが表示されます。

2　十字キー（▲▼）を押して「シャープネス」を選ぶ

3　十字キー（◀▶）で「ソフト」「ややソフト」「標準」「ややハード」「ハード」を切り替える

－側がソフト、＋側がハードになります。

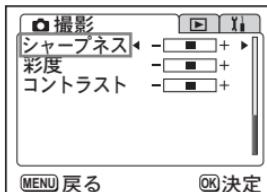
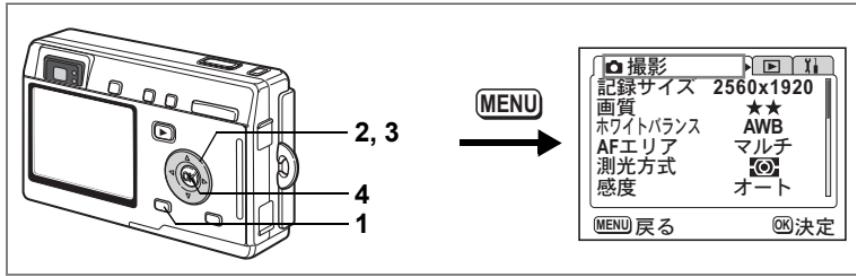
4　OKボタンを押す

撮影できる状態になります。

シャープネスの設定は、電源をオフにしても保持されます。

2, 3
4
1

MENU

撮影
記録サイズ 2560x1920
画質 ★★
ホワイトバランス AWB
AFエリア マルチ
測光方式
感度 オート
MENU 戻る OK 決定

彩度を設定する

色の鮮やかさを設定します。

1　撮影モードでMENUボタンを押す

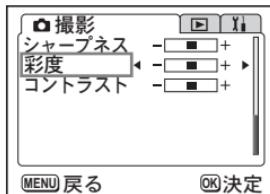
「撮影」メニューが表示されます。

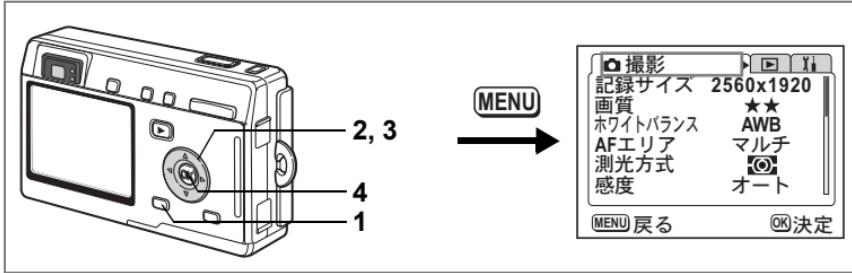
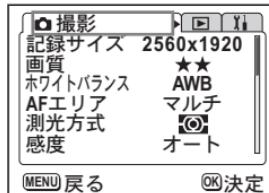
2　十字キー（▲▼）を押して「彩度」を選ぶ

3　十字キー（◄►）で「低」「やや低」「標準」「やや高」「高」を切り替える

－側が彩度が低く、＋側が彩度が高くなります。

撮影
シャープネス
彩度
コントラスト
MENU 戻る OK 決定

4　OKボタンを押す

撮影できる状態になります。

彩度の設定は、電源をオフにしても保持されます。

コントラストを設定する

画像内の明暗差を設定します。

1 撮影モードでMENUボタンを押す

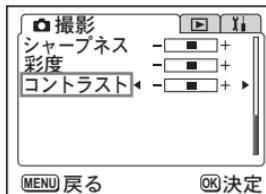
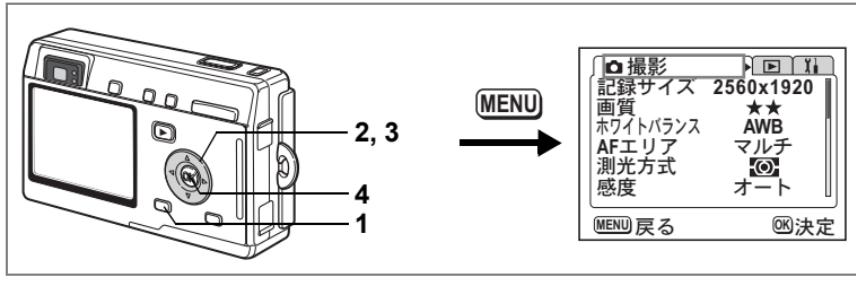
「撮影」メニューが表示されます。

2 十字キー（▲▼）を押して「コントラスト」を選ぶ

3 十字キー（◀▶）で「低」「やや低」「標準」「やや高」「高」を切り替える

－側がコントラストが低く、＋側がコントラストが高くなります。

4 OKボタンを押す

撮影できる状態になります。

コントラストの設定は、電源をオフにしても保持されます。

露出を補正する

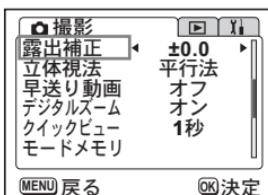
撮影する画像全体の明るさを調整します。
意図的に露出をオーバー（明るく）やアンダー（暗く）にして撮影する際に利用します。

1 撮影モードでMENUボタンを押す

「撮影」メニューが表示されます。

2 十字キー（▲▼）を押して「露出補正」を選ぶ

3 十字キー（◀▶）で露出補正量を選ぶ

明るくする場合は＋側に、暗くする場合は－側に設定します。
露出補正の値は、－2.0EV～＋2.0EVの範囲を1/3EV単位で選択できます。

4 OKボタンを押す

撮影できる状態になります。

撮影モード中、十字キー（◀▶）には、カスタム機能の初期設定で露出補正が設定されています。（☞p.123）メニューを表示しなくても露出を補正できます。

露出補正中は、測光方式が中央部重点、あるいはスポットになります。

露出補正値を保存する☞p.85

メニュー項目を保存する（モードメモリ）

電源をオフにする際に、撮影のために設定した値を保存するかどうかを選びます。☑を選ぶと、電源オフ直前の設定状態をメモリします。□を選ぶと、電源をオフにしたときに初期設定に戻ります。

項目	内容の登録方法	初期設定
ストロボ	⚡ボタンで設定したストロボの発光方法を保存します。	☑
ドライブ	撮影中に十字キー（▲）で選んだドライブモード（セルフタイマー、連続撮影など）を保存します。	□
フォーカスモード	マクロ/遠景/MFボタンで設定したフォーカスモードを保存します。	□
ズーム位置	ズームボタンで設定した光学ズーム位置を保存します。	□
MF位置	マニュアルフォーカスの位置を保存します。	□
ホワイトバランス	「撮影」メニューの「ホワイトバランス」での設定を保存します。	□
測光方式	「撮影」メニューの「測光方式」で設定した測光方式を保存します。	□
感度	「撮影」メニューの「感度」で設定した値を保存します。	□
露出補正	「撮影」メニューの「露出補正」で設定した露出補正値を保存します。	□
デジタルズーム	「撮影」メニューの「デジタルズーム」での設定（オン／オフ）を保存します。	☑
ディスプレイ	液晶モニタの表示モードを保存します。	□
ファイルNo.	ファイル番号を保存します。SDメモリーカードを入れ替えた場合でも連番でファイル名を作成します。	☑

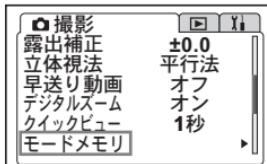
- 「モードメモリ」に含まれないメニュー項目は、電源をオフにした後も、各機能のメニュー画面で設定された値が保持されます。
- デジタルズーム領域で設定したズーム位置は、「モードメモリ」の「ズーム位置」をオンにしても保存されません。
- 「モードメモリ」は、ユーザーモードとそれ以外の撮影モードで別々に設定することができます。

1 撮影モードでMENUボタンを押す

「撮影」メニューが表示されます。

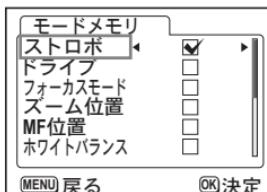
2 十字キー（▲▼）を押して「モードメモリ」を選ぶ

3 十字キー（▶）を押す

「モードメモリ」メニューが表示されます。

4 十字キー（▲▼）で項目を選ぶ

5 十字キー（◀▶）で ☑（オン）／□（オフ）を切り替える

6 OKボタンを2回押す

撮影できる状態になります。

モードメモリ
ストロボ ☑
ドライブ □
フォーカスモード □
ズーム位置 □
MF位置 □
ホワイトバランス □
MENU 戻る
OK 決定

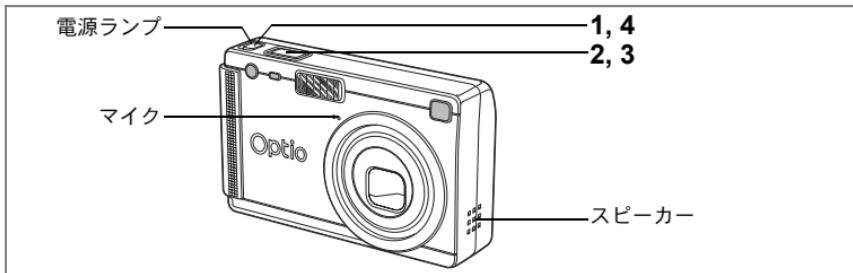
ユーザーモードに機能を登録する

撮影モードをUSERに合わせて撮影のための機能を設定すると、設定した撮影機能がユーザーモードに登録されます。

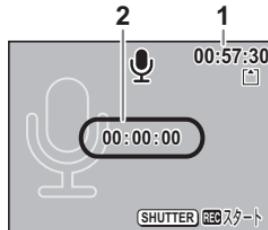
ユーザーモードに登録できる機能

ユーザーモードに登録できる項目	初期設定	参照
ストロボモード	オート	p.72
ドライブモード	標準	p.60~62
フォーカスモード	通常AF	p.69
MF位置	無限遠	p.70
記録サイズ	2560×1920	p.73
画質	★★	p.74
ホワイトバランス	AWB（オート）	p.75
AFエリア	マルチ	p.77
測光方式	（分割）	p.78
感度	オート	p.79
デジタルズーム	オン	p.63
クイックビュー	1秒	p.80
モードメモリ	すべてオン	p.85
シャープネス	標準	p.81
彩度	標準	p.82
コントラスト	標準	p.83
露出補正	±0.0	p.84
カスタム機能	露出補正	p.123

音声を録音する（ボイスレコーディングモード）

音声を記録します。SDメモリーカードの空き容量に応じて、録音できる時間が表示されます。

1 電源スイッチを2秒以上押す または、DISPLAYボタンを押しながら、電源スイッチを押す

電源ランプが赤色に点灯します。
液晶モニタに録音可能な時間が表示されます。

1 残り録音可能時間
2 録音時間

2 シャッターボタンを押す

録音が開始されます。録音中は、セルフタイマーランプとストロボランプが点灯します。
シャッターボタンを1秒以上押し続けると、押している間だけ録音され、シャッターボタンを離すと録音を停止します。

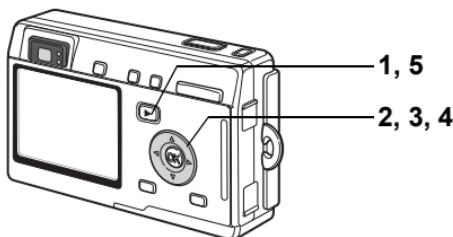
3 シャッターボタンを押す

録音が終了します。残り録音可能時間が表示されます。

4 電源を切ってボイスレコーディングモードを終了する

- 電源スイッチを押したとき、レンズがいったん前に出ますが、すぐに収納されます。その後、ボイスレコーディングモードになります。
- 音声はモノラルのWAVEファイルで記録されます。
- マイクはカメラ前面に付いています。最適な状況で録音できるように、カメラの向きを調整してください。
- 録音中にMENUボタンを押すと、録音中の音声にインデックスを付けることができます。

音声を再生する

ボイスレコーディングモードで録音した音声を再生します。

1　ボイスレコーディングモードで、▶再生ボタンを押す

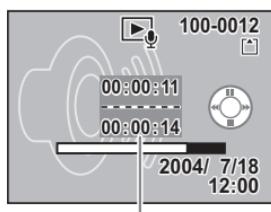
2　十字キー（◀▶）で再生したい音声を選ぶ

3　十字キー（▲）を押す

再生を開始します。

ファイルの総録音時間

- **再生中にできる操作**

十字キー（▲）	一時停止する 再開するときは もう一度押す
インデックスがない場合	
十字キー（◀）	約5秒前に戻る
十字キー（▶）	約5秒先に送る
インデックスがある場合	
十字キー（◀）	前のインデックス位置から再生
十字キー（▶）	次のインデックス位置から再生
ズーム/▦/🔍ボタン（♠）	音量を大きくする
ズーム/▦/🔍ボタン（♠♠♠）	音量を小さくする

4　十字キー（▼）を押す

再生を停止します。

5　▶再生ボタンを押す

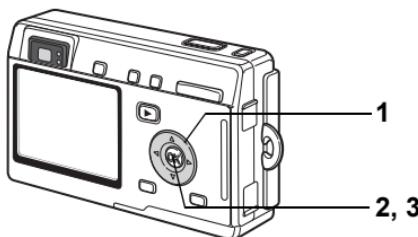
ボイスレコーディングモードに切り替わります。

メモ

撮影モードから再生モードに入ったときは、手順5で撮影モードに切り替わります。続けて録音するときは、いったん電源をオフにして、もう一度ボイスレコーディングモードで起動してください。（☞p.31）

5 録音・再生

ボイスメモを付ける

撮影した画像にボイスメモを付けることができます。

1　再生モードに入り、十字キー（◀▶）でボイスメモを付けたい画像を選ぶ

撮影した画像を表示中は、液晶モニタにボイスメモを開始するための画面が表示されます。

2　OKボタンを押す

ボイスメモの録音を開始します。最長30秒録音することができます。

3　OKボタンを押す

ボイスメモの録音が終了します。

- ボイスメモを付けると、画面に♫が表示されます。
- すでにボイスメモが録音されている画像にボイスメモを上書きすることはできません。いったんボイスメモを消去してから、もう一度録音してください。（☞p.97）

プロテクト（O━π）されている画像にボイスメモを付けることはできません。

ボイスメモを付けないように設定する

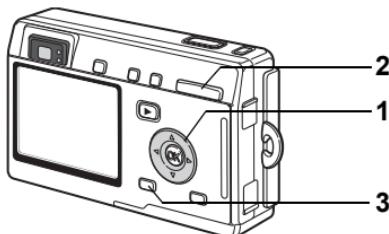
1　「▶再生」メニューの「ボイスメモの録音」を選ぶ

2　十字キー（◀▶）で「オフ」を選ぶ

3　OKボタンを押す

十字キーガイド表示中の🎙の表示がなくなり、ボイスメモが付けられないようになります。

画像を再生する

SDメモリーカードをセットしているときは、カードに記録された画像が再生されます。
カードをセットしていないときは、カメラの内蔵メモリに記録された画像が再生されます。

静止画を再生する

▶再生ボタンをクリックします。
操作方法は「画像を再生する」(p.28)「前後の画像を再生する」(p.28)をご覧ください。

拡大して再生する

再生する画像を最大4倍まで拡大表示できます。拡大中は液晶モニタにガイドが表示されます。

1　再生モードに入り、十字キー(◀▶)で拡大表示したい画像を選ぶ

2　ズーム/▦/🔍ボタンの♠/🔍を押す

画面が大きく(1倍～4倍)表示されます。
押し続けると、連続的に大きさが変わります。

- **拡大表示中にできる操作**

十字キー(▲▼◀▶)	拡大位置を移動する
ズーム/▦/🔍ボタン(♠)	画像を大きくする
ズーム/▦/🔍ボタン(♠♠♠)	画像を小さくする
DISPLAYボタン	ガイドをオン/オフする

3　MENUボタンを押す

拡大再生が終了します。

動画は拡大表示できません。

クイック拡大をオン／オフする

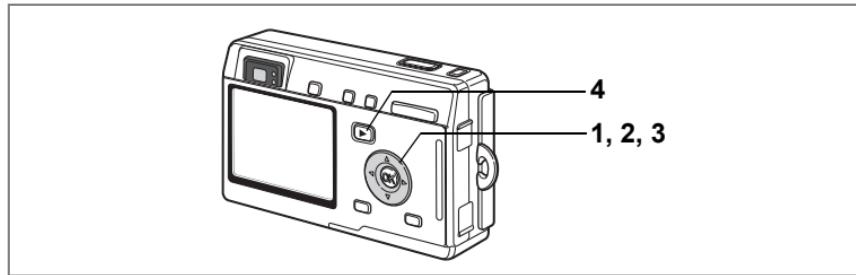
拡大再生時にズーム/⊞/🔍ボタンを1回押しただけで、画像を最大倍率まで拡大できます。

1　「▶再生」メニューの「クイック拡大」を選ぶ

2　十字キー（◀▶）で「オン」「オフ」を切り替える

オン：ズーム/⊞/🔍ボタンの🔍を1回押すと､最大倍率まで拡大する。
オフ：ズーム/⊞/🔍ボタンの🔍を1回押すと、1段階ずつ拡大する。

3　OKボタンを押す

撮影または再生できる状態になります。

動画を再生する

動画を再生します（音声も同時に再生されます）。再生中は液晶モニタに操作ガイドが表示され、再生、コマ送り（コマ戻し）再生、一時停止、音量調節などができます。

1　再生モードに入り、十字キー（◀▶）で再生したい動画を選ぶ

2　十字キー（▲）を押す

再生が開始します。

- **再生中にできる操作**

十字キー（◀）	逆方向に再生する
十字キー（▶）	順方向に再生する
十字キー（▲）	一時停止する
DISPLAYボタン	ディスプレイモードを切り替える（☞p.93）
ズームボタン♠♠♠/♠	音量を調整する

- **一時停止中にできる操作**

十字キー（◀）	コマ戻しする
十字キー（▶）	コマ送りする
十字キー（▲）	一時停止を解除する（再生する）
DISPLAYボタン	ディスプレイモードを切り替える（☞p.93）

3　十字キー（▼）を押す

再生が停止し、1コマ目に戻ります。

4　▶再生ボタンを押す

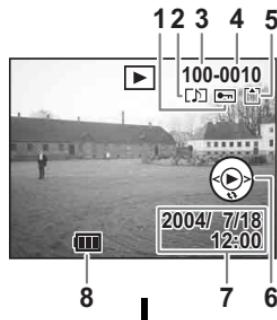
撮影モードに切り替わります。

撮影時の情報を表示する

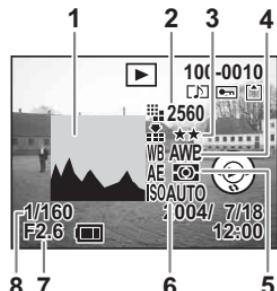
再生モード時にDISPLAYボタンを押すと、表示中の画像に関する撮影情報などの表示（ディスプレイモード）が切り替わります。

通常表示

撮影時の情報を表示します。

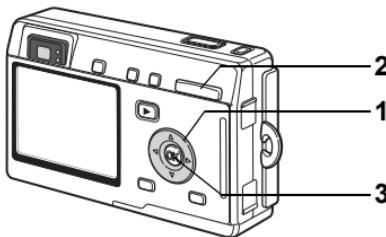
1 プロテクトマーク　**2** ボイスメモマーク
3 フォルダ名　**4** ファイル名
5 カード／内蔵メモリ
6 十字キー操作ガイド　**7** 撮影日時
8 バッテリー残量表示

ヒストグラム表示

画像の明度分布を表示します。横軸は明るさ（左端が最も暗く、右端が最も明るい）、縦軸はピクセル数を表わします。

1 ヒストグラム　**2** 記録サイズ
3 画質　**4** ホワイトバランス
5 測光方式　**6** 感度
7 絞り値　**8** シャッター速度

情報表示なし

撮影時の情報を表示しません。

通常表示

液晶モニタの表示モードを保存する☞p.85

9画像ずつ表示する

撮った画像を液晶モニタに同時に9枚ずつ表示できます。

1　再生モードに入り、十字キー（◀▶）で画像を選ぶ

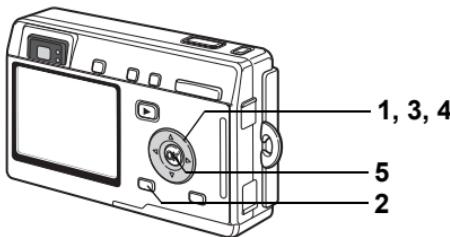
2　ズーム/⊞/🔍ボタンの⫶⫶⫶/⊞を押す

画像が小さなコマで9枚ずつ表示されます。十字キー（▲▼◀▶）で選択します。10以上の画像が記録されている場合、左列の画像を選択しているときに十字キー（◀）を押すと前の9画像が表示され、右列の画像を選択しているときに十字キー（▶）を押すと次の9画像が表示されます。

選択画像

3　OKボタンを押す

選択した画像が全画面表示されます。

MENUボタン、🗑ボタン、DISPLAYボタン、ズーム/⊞/🔍ボタンを押しても、選択した画像の全画面表示に戻れます。

スライドショウで連続再生する

SDメモリーカードまたは内蔵メモリに保存された全画像を連続して再生します。

1　再生モードに入り、十字キー（◀▶）でスライドショウを開始する画像を選ぶ

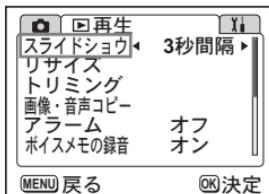
2　MENUボタンを押す

「▶再生」メニューが表示されます。

▶再生
スライドショウ ◀ 3秒間隔 ▶
リサイズ
トリミング
画像・音声コピー
アラーム　オフ
ボイスメモの録音　オン
MENU 戻る　OK 決定

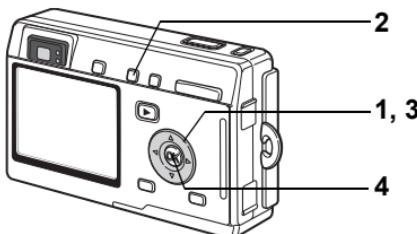
3　十字キー（▼）で「スライドショウ」を選ぶ

4　十字キー（◀▶）で再生間隔を切り替える

3秒間隔、5秒間隔、10秒間隔、15秒間隔、20秒間隔、25秒間隔、30秒間隔から選択できます。

5　OKボタンを押す

「スタート」と表示され、設定した時間間隔でスライドショウが始まります。
OKボタン、MENUボタンなど、どれかのボタンを押すと、「ストップ」と表示され、スライドショウが停止します。

- スライドショウは、ボタンを押して停止させるまで何度でも繰り返します。
- 動画、ボイスメモ付き画像は、設定した再生間隔にかかわらず、すべて再生されてから次の再生に移ります。
- ボイスレコーディングモードで録音した音声は、再生されません。

画像・動画・音声を消去する

1画像・1音声ずつ消去する

1画像、1音声ずつ消去します。

- 消去した画像は復元できません。
- プロテクト（O‑π）されている画像は消去できません。（☞p.99）

1　再生モードに入り、十字キー（◀▶）で消去したい画像・音声を選ぶ

2　🗑ボタンを押す

消去画面が表示されます。

3　十字キー（▲）で「消去」を選ぶ

4　OKボタンを押す

表示されている画像が消去されます。

- 画像の消去は、クイックビュー（p.80）で画像表示中に行うこともできます。
- プロテクト（O‑π）されている画像は、消去できません。
- 「▶再生」メニューの「クイック消去」をオンに設定すると、手順3の操作を省略することができます。（☞p.97）

ボイスメモを消去する

ボイスメモ付きの画像の場合は、画像は消去せずにボイスメモのみを消去することができます。

1　再生モードに入り、十字キー（◀▶）で消去したいボイスメモ付きの画像を選ぶ

2　🗑ボタンを押す

消去画面が表示されます。

3　十字キー（▲）で「音声消去」を選ぶ

4　OKボタンを押す

ボイスメモが消去されます。

画像とボイスメモの両方を消去するには、手順3で「消去」を選びます。

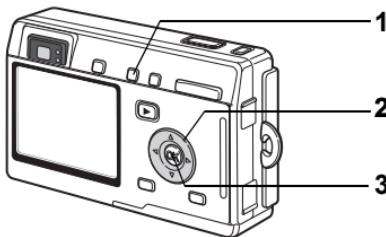
クイック消去をオン／オフする

クイック消去をオンに設定すると、消去画面が表示されたとき、「消去」が選択された状態になり、消去手順が簡単になります。

1　「▶再生」メニューで「クイック消去」を選ぶ

2　十字キー（◀▶）で「オン」と「オフ」を切り替える

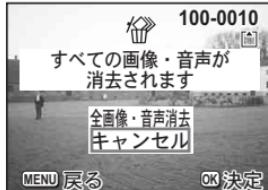
3　OKボタンを押す

撮影または再生できる状態になります。

まとめて消去する

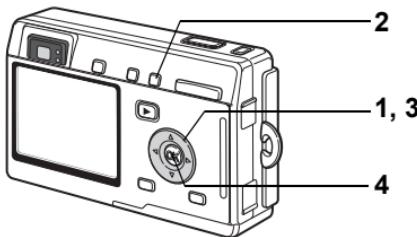
保存されている全画像・音声を消去します。

- 消去した画像は復元できません。
- プロテクト（o━π）されている画像・音声は消去できません。

1　再生モードに入り、🗑ボタンを2回押す

全画像・音声消去画面が表示されます。

2　十字キー（▲）で「全画像・音声消去」を選ぶ

3　OKボタンを押す

全画像・音声が消去されます。

消去できないようにする（プロテクト）

画像・音声を誤って消去しないようにプロテクト（保護）することができます。

1　再生モードに入り、十字キー（◀▶）でプロテクトする画像・音声を選ぶ

2　O┳ボタンを押す

プロテクト画面が表示されます。

3　十字キー（▲）で「プロテクト」を選ぶ

4　OKボタンを押す

- プロテクトを解除するには、手順3で「解除」を選びます。
- プロテクトされた画像・音声には、再生時にO┳が表示されます。

全画像・音声をプロテクトするには

全画像・音声をプロテクトすることができます。

1　再生モードに入る

2　O┳ボタンを2回押す

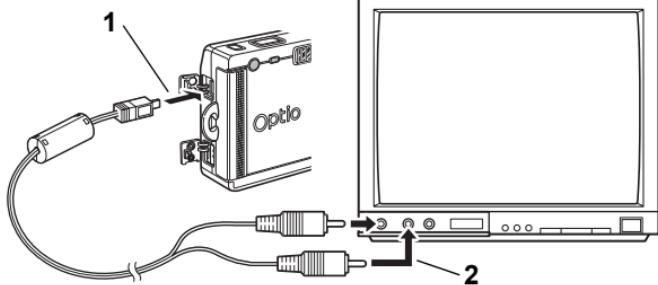
全画像・音声プロテクト画面が表示されます。

3　十字キー（▲）で「プロテクト」を選ぶ

4　OKボタンを押す

手順3で「解除」を選ぶと、全画像・音声のプロテクト設定が解除されます。

プロテクトされた画像・音声もSDメモリーカードまたは内蔵メモリをフォーマットすると消去されます。

テレビで画像を見る

AVケーブルを使用すると、テレビなどビデオ入力端子を備えた機器をモニタにして撮影や再生ができます。なお、ケーブルを接続するときは、テレビとカメラの電源を必ずオフにしてください。

1　端子カバーを開き、AVケーブルを接続する

2　AVケーブルのもう一方の端子を、テレビの映像入力端子と音声入力端子に接続する

ステレオ音声の機器に接続するときは、音声端子をL（白）に差し込んでください。

3　テレビとカメラの電源を入れる

ビデオの出力方式を切り替える☞p.121

- 長時間使用するときは、ACアダプタキットK-AC8J（別売）のご使用をおすすめします。テレビなど接続する機器の使用説明書もご覧ください。
- テレビに接続している間は、カメラの液晶モニタはオフになります。

リモコンで再生する（別売）

カメラにAVケーブルが接続されているときには、リモートコントロールEまたはF（別売）を使って静止画を再生できます。

1　▶再生ボタンを押す

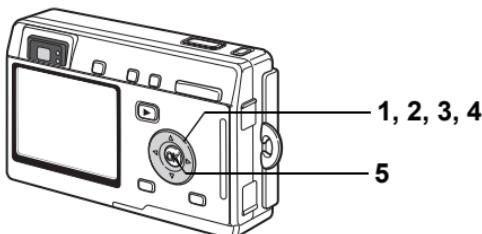
2　リモコンのシャッターボタンまたはズームボタンを押す

シャッターボタン：次の画像が表示されます。
ズームボタン：前の画像が表示されます。

- リモートコントロールFにはズームボタンがありませんので、シャッターボタン（次の画像表示）操作のみとなります。
- 動画や音声付き画像、音声のみのファイルは、リモコンで再生することができません。

6 再生・消去・画像編集

プリントサービスの設定をする（DPOF）

SDメモリーカードに保存した画像は、DPOF（Digital Print Order Format）対応プリンタやラボプリントサービスでプリントできます。

1画像ずつ設定する

各画像ごとに、次の項目の設定をします。
枚数：プリントする枚数を設定します。99枚までの設定ができます。
日付：プリントする画像に日付を入れるか入れないかを設定します。

1　再生モードに入り、十字キー（◀▶）でプリント指定する画像を選ぶ

2　十字キー（▲）を押す

DPOF画面が表示されます。

3 十字キー（◀▶）でプリント枚数を設定し、十字キー（▼）を押す

選択枠が「日付」に移動します。

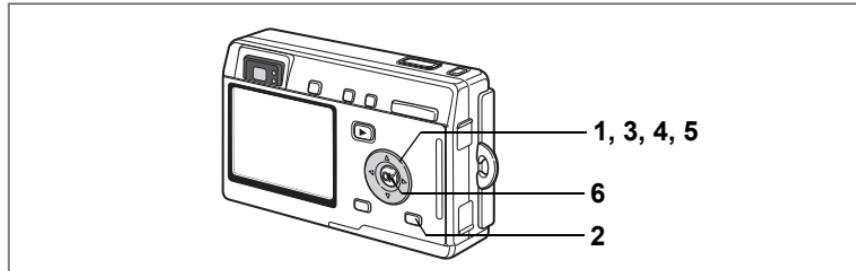
4 十字キー（◀▶）で日付の☑（オン）／□（オフ）を設定する

☑ ：プリントに日付を入れます。
□ ：プリントに日付を入れません。

5 OKボタンを押す

設定した値でプリントできます。

- すでにDPOFが設定されている画像は、設定された枚数と日付のオン／オフが表示されます。
- DPOFを解除するには、枚数を「0」に設定して、OKボタンを押します。

- 動画や音声のみのファイルには、DPOF設定はできません。
- プリンタやプリント取扱い店のプリント機器によっては、DPOFの設定で日付をオンにしても、プリントに日付が写し込まれない場合があります。

全画像を設定する

1　再生モードで十字キー（▲）を押す

2　DISPLAYボタンを押す

3　十字キー（◀▶）でプリント枚数を設定する

99枚まで設定ができます。

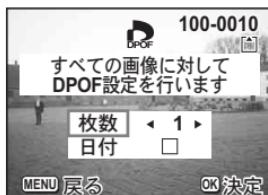
4　十字キー（▼）を押す

選択枠が「日付」に移動します。

5　十字キー（◀▶）で日付の☑（オン）／□（オフ）を設定する

☑：プリントに日付を入れます。
□：プリントに日付を入れません。

6　OKボタンを押す

設定した値でプリントできます。

全画像設定でプリント枚数の指定をすると、すべてのコマに指定した枚数が設定されます。プリントをする前に必ず、枚数の設定が正しいか確認してください。

- 全画像設定を行うと、1画像ずつの設定は解除されます。
- 動画にはDPOF設定できません。

カメラを直接プリンタにつないでプリントする（PictBridge）

付属のUSBケーブル（I-USB7）で、カメラをPictBridge対応プリンタに接続すると、パソコンを介さなくても、カメラからダイレクトに画像をプリントすることができます。プリントする画像の選択やプリントする枚数は、カメラとプリンタを接続した状態で、カメラ側で設定します。

- カメラをプリンタに接続するときは、ACアダプタキットK-AC8J（別売）のご使用をおすすめします。プリンタと通信中にバッテリーが消耗すると、プリンタが誤動作したり、画像データが壊れることがあります。
- カメラからプリンタへのデータ転送中は、ステータスランプとストロボランプがゆっくり点滅します。
- データ転送中にUSBケーブルを抜かないでください。
- プリンタの種類によっては、カメラ側の設定（DPOFの設定など）が一部しか反映されないことがあります。

カメラをプリンタに接続する

1　「詳細設定」メニューの「USB接続」で「PictBridge」を選ぶ

☞「USB接続モードを変更する」（p.121）

2　カメラを付属のUSBケーブルでプリンタに接続する

PictBridgeメニュー画面が表示されます。

1画像ずつプリントする

1　十字キー（▲▼）を押して「1画像印刷」を選ぶ

2　OKボタンを押す

1画像印刷画面が表示されます。

3　十字キー（◀▶）でプリントする画像を選ぶ

4　十字キー（▲▼）でプリントする枚数を選ぶ

10枚まで設定ができます。

5　DISPLAYボタンで、日付の☑（オン）／□（オフ）を設定する

☑：プリントに日付を入れます。
□：プリントに日付を入れません。

6　OKボタンを押す

用紙サイズ選択画面が表示されます。

7　十字キー（◀▶）で用紙サイズを選ぶ

用紙サイズは 設定（プリンタ設定）、カード、L、2L、ハガキ、100×150、4"×6"、8"×10"、レター、11"×17"、A4、A3の12種類から選べます。
プリンタが対応していない用紙サイズは選択できません。

8　OKボタンを押す

設定した条件でプリントされます。印刷が終了すると手順3の画面に戻ります。
プリントを途中で中止するには、MENUボタンを押します。

全画像をプリントする

1　十字キー（▲▼）を押して「全画像印刷」を選ぶ

2　OKボタンを押す

全画像印刷画面が表示されます。
十字キー（◀▶）で画像の確認ができます。

3　十字キー（▲▼）を押して各画像をプリントする枚数を選ぶ

何枚ずつプリントするかを選びます。

4　DISPLAYボタンで、日付の☑（オン）／□（オフ）を設定する

☑：プリントに日付を入れます。
□：プリントに日付を入れません。

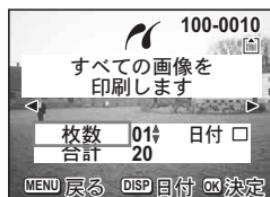
5　OKボタンを押す

用紙サイズ選択画面が表示されます。

6　十字キー（◀▶）で用紙サイズを選ぶ

用紙サイズは 設定（プリンタ設定）、カード、L、2L、ハガキ、100×150、4"×6"、8"×10"、レター、11"×17"、A4、A3の12種類から選べます。
プリンタが対応していない用紙サイズは選択できません。

7　OKボタンを押す

設定した条件でプリントされます。印刷が終了すると手順3の画面に戻ります。
プリントを途中で中止するには、MENUボタンを押します。

プリントサービスの設定（DPOF）内容でプリントする

1　十字キー（▲▼）を押して「DPOF指定印刷」を選ぶ

2　OKボタンを押す

DPOF指定印刷画面が表示されます。
十字キー（◀▶）で、画像と印刷設定の確認ができます。

3　OKボタンを押す

用紙サイズ選択画面が表示されます。

4　十字キー（◀▶）で用紙サイズを選ぶ

用紙サイズは 設定（プリンタ設定）、カード、L、2L、ハガキ、100×150、4"×6"、8"×10"、レター、11"×17"、A4、A3の12種類から選べます。
プリンタが対応していない用紙サイズは選択できません。

5　OKボタンを押す

設定した条件でプリントされます。印刷が終了すると手順2の画面に戻ります。
プリントを途中で中止するには、MENUボタンを押します。

プリンタからカメラを取り外す

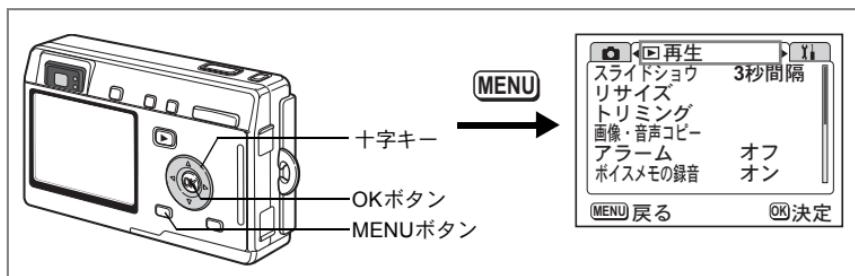
プリントが終了したら、カメラをプリンタから取り外します。

1　カメラの電源をオフにする

2　カメラからUSBケーブルを取り外す

3　プリンタからUSBケーブルを取り外す

カメラからUSBケーブルを取り外すと、カメラの電源が自動的に切れます。

画像を編集する

画像のサイズと画質を変更する

選択した画像の記録サイズと画質を変更して、ファイルサイズを元のファイルサイズよりも小さくすることができます。カード／メモリがいっぱいになって撮影できなくなったとき、画像をリサイズして上書きすれば、空き容量が増え、撮影を続けることができます。

1画像ずつリサイズする

サイズや画質を変更した画像は、元の画像に上書き保存することも、新規の画像として保存することもできます。

1 再生モードでMENUボタンを押す

「▶再生」メニューが表示されます。

2 十字キー（▲▼）を押して「リサイズ」を選ぶ

3 十字キー（▶）を押す

リサイズ画像の選択画面が表示されます。

4 十字キー（◀▶）でリサイズする画像を選ぶ

5 OKボタンを押す

サイズと画質の選択画面が表示されます。

6 十字キー（◀▶）で記録サイズを変更する

7 十字キー（▼）を押す

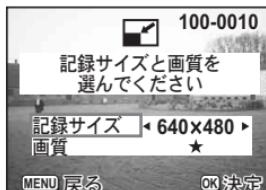
選択枠が「画質」に移動します。

8 十字キー（◀▶）で画質を変更する

9 OKボタンを押す

10 十字キー（▲▼）で「上書き保存」または「新規保存」を選ぶ

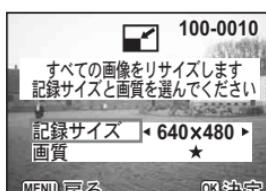
11 OKボタンを押す

リサイズされた画像が保存されます。

- 動画のサイズを変更することはできません。
- 元の画像の記録サイズよりも大きな記録サイズは選択できません。

全画像まとめてリサイズする

SDメモリーカードまたは内蔵メモリに書き込まれている画像をまとめてリサイズします。

4 前ページ手順3の画面でDISPLAYボタンを押す

全画像リサイズ用の選択画面が表示されます。

5 十字キー（◀▶）で記録サイズを変更する

6 十字キー（▼）を押す

選択枠が「画質」に移動します。

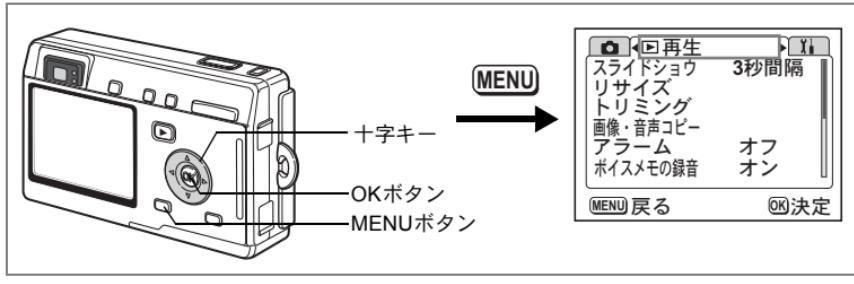
7 十字キー（◀▶）で画質を変更する

8 OKボタンを押す

9 十字キー（▲▼）で「上書き保存」または「新規保存」を選ぶ

10 OKボタンを押す

指定した記録サイズより大きい画像が、すべてリサイズされ保存されます。

- 動画のサイズを変更することはできません。
- 指定した記録サイズより小さな画像は、リサイズされません。
- プロテクト（O━π）された画像は、上書き保存できません。

画像をトリミングする

画像の一部分をトリミングして、別の画像として保存します。

1　再生モードでMENUボタンを押す

「▶再生」メニューが表示されます。

2　十字キー（▲▼）を押して「トリミング」を選ぶ

3　十字キー（▶）を押す

トリミングできる画面が表示されます。

4　十字キー（◀▶）でトリミングする画像を選ぶ

5　OKボタンを押す

トリミング画面が表示されます。

6　トリミングする

- **トリミング画面でできる操作**

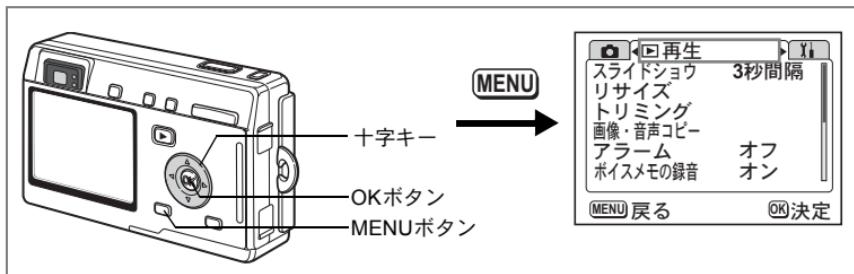
ズーム/▦/🔍ボタン	トリミングサイズを変える
十字キー（▲▼◀▶）	トリミング位置を上下左右に移動する
MENUボタン	トリミングする画像を選択する画面に戻る

7　OKボタンを押す

トリミングされた画像が別の画像として保存されます。

- 動画はトリミングできません。
- 画像サイズは変更されて保存されます。

6　再生・消去・画像編集

画像・音声をコピーする

内蔵メモリとSDメモリーカード間で画像や音声のファイルをコピーします。あらかじめカードを入れておかないと、この機能は選択できません。
内蔵メモリからSDメモリーカードにコピーする場合は、すべてのファイルが一括してコピーされます。SDメモリーカードから内蔵メモリにコピーする場合は、1ファイルごとに確認しながらコピーします。

1　再生モードでMENUボタンを押す

「▶再生」メニューが表示されます。

2　十字キー（▼）を押して「画像・音声コピー」を選ぶ

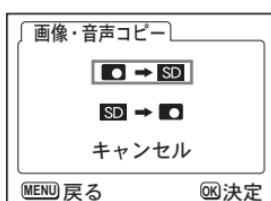
3　十字キー（▶）を押す

コピー画面が表示されます。ここでコピー方法を選択します。

SDメモリーカードの挿入と取り出しは、必ず電源をオフにしてから行ってください。

内蔵メモリからSDメモリーカードにコピーする場合

4　十字キー（▲▼）を押して「■ → SD」を選びOKボタンを押す

すべてのファイルがSDメモリーカードにコピーされます。

6
再生・消去・画像編集

SDメモリーカードから内蔵メモリにコピーする場合

5　十字キー（▲▼）を押して「SD ➡ ■」を選びOKボタンを押す

6　十字キー（◀▶）でコピーするファイルを選ぶ

7　OKボタンを押す

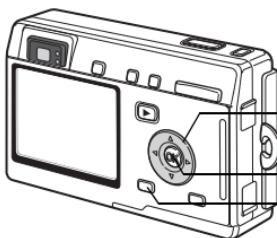
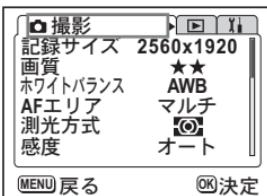
選んだファイルが内蔵メモリにコピーされます。

- 音声付きの画像は、画像と同時に音声ファイルもコピーされます。
- SDメモリーカードから内蔵メモリにコピーする場合、コピーするファイルは新しいファイル名に変更されます。

カメラの設定をする

「詳細設定」メニューの呼び出しかた

十字キー
OKボタン
MENUボタン
MENU

撮影
記録サイズ 2560x1920
画質 ★★
ホワイトバランス AWB
AFエリア マルチ
測光方式
感度 オート
MENU 戻る OK 決定

画面を設定する

メニュー画面の背景色とカメラの電源を入れたときの起動画面を設定します。

1 「詳細設定」メニューの「画面設定」を選ぶ

2 十字キー（▶）を押す

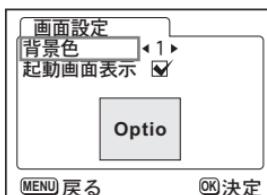
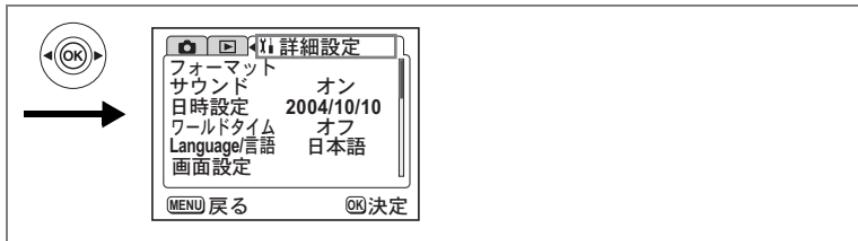
画面設定画面が表示されます。

メニュー画面の背景色を設定する

3 十字キー（◀▶）で背景色を選ぶ

6種類の色から選択できます。

4 OKボタンを2回押す

撮影または再生できる状態になります。

起動画面を設定する

3　十字キー（▲▼）を押して「起動画面表示」を選ぶ

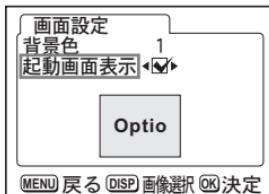
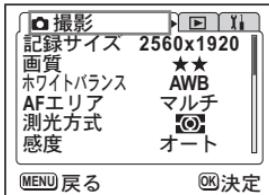
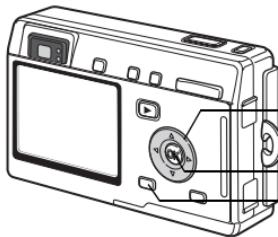
4　DISPLAYボタンを押して、十字キー（◀▶）で起動画面として表示する画像を選ぶ

5　OKボタンを押す

6　十字キー（◀▶）で☑（オン）と□（オフ）を切り替える

☑：起動画面を表示します。
□：起動画面を表示しません。

7　OKボタンを2回押す

撮影または再生できる状態になります。

- 設定した起動画面は、元の画像を消去したり、SD メモリーカードや内蔵メモリをフォーマットしても消去されません。消去する場合は、DISPLAYボタンを押して画像選択画面を表示させ、起動画面として選んだ画像が液晶モニタに表示されている状態で、🗑ボタンを押してください。
- グリーンモードで電源をオフし、次に電源を入れると、グリーンモードの専用起動画面が表示されます。グリーンモードの専用起動画面は、変更できません。

SDメモリーカード／内蔵メモリをフォーマットする

SDメモリーカードに保存されているすべてのデータを消去します。
SDメモリーカードが入っていない場合は、内蔵メモリのデータが消去されます。

- SDメモリーカードのフォーマット中は、カードを取り出さないでください。カードが破損して使用できなくなることがあります。
- パソコンなど、このカメラ以外の機器でフォーマットされたSDメモリーカードは使用できません。必ずカメラでフォーマットを行ってください。
- フォーマットを行うと、プロテクトされた画像も消去されます。ご注意ください。

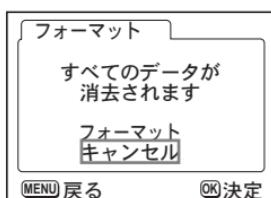
1 「詳細設定」メニューの「フォーマット」を選ぶ

2 十字キー（▶）を押す

フォーマット画面が表示されます。

3 十字キー（▲）で「フォーマット」を選ぶ

4 OKボタンを押す

フォーマットが開始されます。フォーマットが終わると撮影できる状態になります。

サウンドの設定を変更する

録音した音声や操作音（起動音、シャッター音、キー操作音など）の音量を変更します。また操作音の音の種類を変更することもできます。

1 「詳細設定」メニューの「サウンド」を選ぶ

2 十字キー（▶）を押す

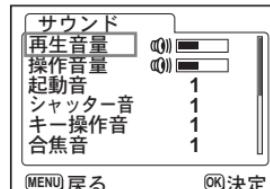
サウンド画面が表示されます。

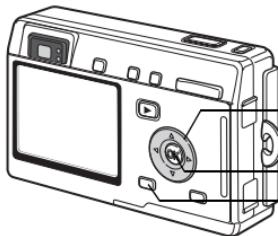
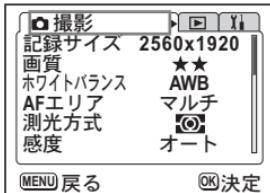
音量を変更する

3 十字キー（◀▶）を押して再生音量を切り替える

4 十字キー（▼）を押して「操作音量」を選ぶ

5 十字キー（◀▶）を押して操作音量を切り替える

6 OKボタンを2回押す

撮影または再生できる状態になります。

「詳細設定」メニューの呼び出しかた

起動音、シャッター音、キー操作音、合焦音、セルフタイマー音の種類を変更する

3　十字キー（▲▼）を押して「起動音」を選ぶ

4　十字キー（◀▶）で「オフ」「1」「2」「3」のいずれかを選ぶ

5　「シャッター音」「キー操作音」「合焦音」「セルフタイマー音」も同様に切り替える

6　OKボタンを2回押す

撮影または再生できる状態になります。

サウンドの設定は、電源をオフにしても保持されます。

日時を変更する

初期設定で設定した日付と時刻を変更します。また、カメラに表示する日付の表示スタイルを設定します。「年/月/日」「月/日/年」「日/月/年」から選べます。

1　「詳細設定」メニューの「日時設定」を選ぶ

2　十字キー（▶）を押す

日時設定画面が表示されます。

日時の設定方法は「初期設定をする」（p.23）をご覧ください。

詳細設定
フォーマット
サウンド　オン
日時設定　2004/10/10
ワールドタイム　オフ
Language/言語　日本語
画面設定
MENU 戻る　OK 決定

ワールドタイムを設定する

「初期設定をする」(p.23)で設定した日時は、「ホームタイム」(通常使用する国・地域の日時)として設定されます。
「ワールドタイム」を設定しておくと、海外で使用する際、液晶モニタに設定した国・地域の日時を表示できます。

1 「詳細設定」メニューの「ワールドタイム」を選ぶ

2 十字キー(▶)を押す

ワールドタイム設定画面が表示されます。

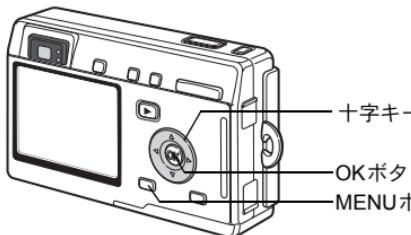
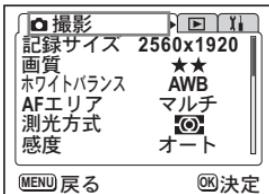
3 十字キー(◀▶)で☑と□を切り替える

☑:ワールドタイムで選択した国・地域の時刻表示になります。
□:ホームタイムで選択した国・地域の時刻表示になります。

4 十字キー(▼)を押す

ワールドタイムの対象地域には、はじめは東京が選択されています。このとき、世界地図上の東京の位置を表示し、✈には東京の記号名「TYO」と東京の時刻が表示されます。

5 十字キー(◀▶)で ✈(ワールドタイム)の都市を選び、十字キー(▼)を押す

「🔧詳細設定」メニューの呼び出しかた

6 十字キー（◀▶）で「夏時間」の ☑（オン）／ □（オフ）を切り替え、十字キー（▼）を押す

⌂（ホームタイム）の設定が選択されます。
⌂（ホームタイム）の対象地域には、はじめは「TYO（東京）」が設定されています。
十字キー（◀▶）で⌂（ホームタイム）の「都市」や、「夏時間」のオン／オフを変更できます。

7 OKボタンを2回押す

設定した都市の日時で、撮影または再生できる状態になります。

指定できる都市および都市の記号名については、「都市名一覧」(p.128) をご覧ください。

7 設定

表示言語を変更する

メニューやエラーメッセージなどに表示される言語を変更します。
日本語／英語／フランス語／ドイツ語／スペイン語／イタリア語／ロシア語／韓国語／中国語（繁体字／簡体字）の9言語に対応しています。

1 「🔧詳細設定」メニューの「Language/言語」を選ぶ

2 十字キー（◀▶）で言語を選ぶ

3 OKボタンを押す

撮影または再生できる状態になります。

ビデオ出力方式を選択する

テレビをモニタにして撮影や再生をするときの出力形式を、NTSC方式とPAL方式から選択します。

1 「詳細設定」メニューの「ビデオ出力」を選ぶ

2 十字キー（◀▶）で「NTSC」「PAL」を切り替える

モニタするテレビの出力方式に合わせて選択します。

3 OKボタンを押す

撮影または再生できる状態になります。

日本国内では、NTSC方式です。

USB接続モードを変更する

USBケーブルの接続先がプリンタ（PictBrigde）か、パソコンかによって、USB接続モードを切り替えます。

1 「詳細設定」メニューの「USB接続」を選ぶ

2 十字キー（◀▶）で「PC」「PictBrigde」を切り替える

3 OKボタンを押す

パソコンまたはプリンタに接続できる状態になります。

スリープを設定する

一定時間操作しないときに、自動的に液晶モニタが消えるように設定します。

1 「詳細設定」メニューの「スリープ」を選ぶ

2 十字キー（◀▶）で「30秒」「1分」「2分」「オフ」のいずれかを選ぶ

3 OKボタンを押す

撮影または再生できる状態になります。

スライドショウで再生しているときや、USB接続しているときはスリープは働きません。

オートパワーオフを設定する

一定時間操作しないときに、自動的に電源が切れるように設定できます。

1 「詳細設定」メニューの「オートパワーオフ」を選ぶ

2 十字キー（◀▶）で「3分」「5分」「オフ」を切り替える

3 OKボタンを押す

撮影または再生できる状態になります。

USB接続しているときは、オートパワーオフは働きません。

よく使う機能（カスタム機能）を設定する

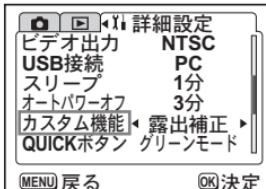
よく使う機能を十字キー（◀▶）に登録します。撮影時に、「◘ 撮影」メニューを表示しなくても、十字キー（◀▶）を押すことで直接機能を設定することができます。初期設定では、「露出補正」が登録されています。

機能を登録する

1 「詳細設定」メニューの「カスタム機能」を選ぶ

2 十字キー（◀▶）で登録する機能を選ぶ

3 OKボタンを押す

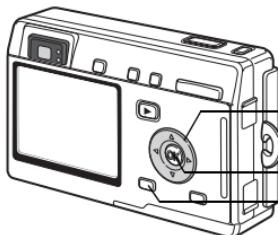
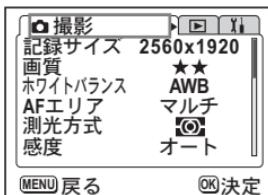
選んだ機能が登録されます。

十字キー（◀▶）には、露出補正、記録サイズ、画質、ホワイトバランス、AFエリア、測光方式、感度、早送り動画、クイックビュー、シャープネス、彩度、コントラストの12項目から1つだけを登録できます。

機能を呼び出す

1 撮影モードで、十字キー（◀▶）を押す

カスタム機能で設定した機能が呼び出されます。
初期設定では、「露出補正」が設定されています。

露出補正値

7
設定

QUICKボタンを設定する

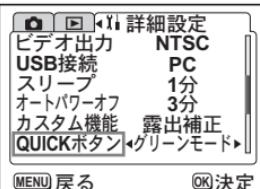
QUICKボタンに機能を登録します。撮影モード、再生モードのどの状態からでも、QUICKボタンを押すだけで登録されている機能に切り替わります。初期設定では、最も簡単に撮影できるグリーンモード（）が登録されています。

機能を登録する

1 「詳細設定」メニューの「QUICKボタン」を選ぶ

2 十字キー（◀▶）で登録する機能を選ぶ

3 OKボタンを押す

選んだ機能が登録されます。

QUICKボタンには、グリーンモード、USERモード、動画モード、モードパレット、ホワイトバランス、モードメモリ、リサイズ、トリミング、画像・音声コピー、フォーマットの10項目から1つだけを登録できます。

7 設定

設定をリセットする

日時設定、Language/言語、ワールドタイム、アラーム以外の設定内容を初期設定に戻します。

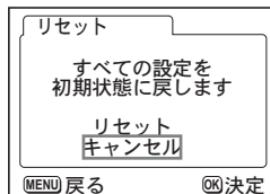
1 「詳細設定」メニューの「リセット」を選ぶ

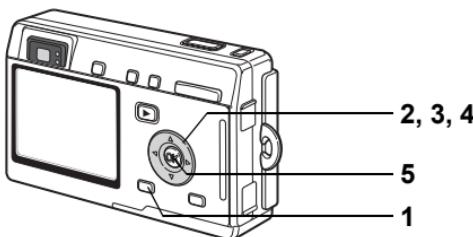
2 十字キー（▶）を押す

リセット画面が表示されます。

3 十字キー（▲）で「リセット」を選ぶ

4 OKボタンを押す

カメラが初期設定に戻り、撮影または再生できる状態になります。

決まった時刻にアラームを鳴らす

指定した時刻にアラームを鳴らし、指定した画像を表示できます。

アラームを確認する

1　MENUボタンを押す

2　十字キー（▶）を押す

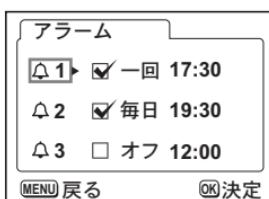
「▶再生」メニューが表示されます。

3　十字キー（▲▼）を押して「アラーム」を選ぶ

4　十字キー（▶）を押す

アラーム一覧が表示されます。
オンのアラームは☑で表示されます。

5　OKボタンを2回押します。

オンのアラームがあるときは、電源がオフになり、アラームがセットされます。

アラームを設定する

1　MENUボタンを押す

2　十字キー（▶）を押す

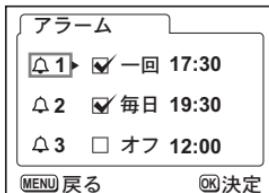
「▶再生」メニューが表示されます。

3　十字キー（▲▼）を押して「アラーム」を選ぶ

7 設定

4 十字キー（▶）を押す

アラーム一覧が表示されます。

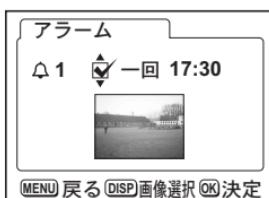
5 十字キー（▲▼）で1〜3を選ぶ

6 十字キー（▶）を押す

アラームモードと時刻を設定する画面が表示されます。
十字キー（◀▶）：項目を移動します。
十字キー（▲▼）：設定値を切り替えます。

7 DISPLAYボタンを押す

8 十字キー（◀▶）を押して、アラーム時に表示する画像を選ぶ

9 OKボタンを押す

アラーム一覧画面に戻ります。

10 OKボタンを3回押す

電源がオフになります。

アラームを鳴らす

電源オフの状態で指定した時刻になると、指定した画像が表示されアラームが1分間鳴ります。
鳴り終わると自動的に電源がオフになります。

鳴っている間にいずれかのボタンを押すと、アラームを停止することができます。

アラームは、電源がオンのときには鳴りません。

付録

都市名一覧

ワールドタイムで指定できる都市、および都市の記号名です。

TYO	東京	JNB	ヨハネスブルグ
GUM	グアム	IST	イスタンブール
SYD	シドニー	CAI	カイロ
NOU	ヌーメア	JRS	エルサレム
WLG	ウェリントン	MOW	モスクワ
AKL	オークランド	JED	ジッダ
PPG	パゴパゴ	THR	テヘラン
HNL	ホノルル	DXB	ドバイ
ANC	アンカレジ	KHI	カラチ
YVR	バンクーバー	KBL	カブール
SFO	サンフランシスコ	MLE	マーレ
LAX	ロサンゼルス	DEL	デリー
YYC	カルガリー	CMB	コロンボ
DEN	デンバー	KTM	カトマンズ
MEX	メキシコシティ	DAC	ダッカ
CHI	シカゴ	RGN	ヤンゴン
MIA	マイアミ	BKK	バンコク
YTO	トロント	KUL	クアラルンプール
NYC	ニューヨーク	VTE	ビエンチャン
SCL	サンティアゴ	SIN	シンガポール
CCS	カラカス	PNH	プノンペン
YHZ	ハリファックス	SGN	ホーチミン
BUE	ブエノスアイレス	JKT	ジャカルタ
SAO	サンパウロ	HKG	香港
RIO	リオデジャネイロ	PER	パース
MAD	マドリッド	BJS	北京
LON	ロンドン	SHA	上海
PAR	パリ	MNL	マニラ
MIL	ミラノ	TPE	台北
ROM	ローマ	SEL	ソウル
BER	ベルリン	ADL	アデレード

別売アクセサリー一覧

本機には、別売アクセサリーとして以下の製品が用意されています。

ACアダプタキット K-AC8J

USBケーブル I-USB7（※）

AVケーブル I-AVC7（※）

カメラケース O-CC8

カメラケース O-CC25

ストラップ O-ST8

ストラップ O-ST20（※）

ストラップ O-ST24

リモートコントロールE（ズーム対応品）

リモートコントロールF

充電式リチウムイオンバッテリー D-LI8（※）

バッテリー充電スタンド D-BC25（※）

バッテリー充電器キット K-BC8J

防水ケース O-WP2

3Dイメージビュワー O-3DV1

（※）の製品は同梱品と同じものです。

メッセージ一覧

カメラを使用中に、液晶モニタに表示されるメッセージには以下のようなものがあります。

圧縮に失敗しました	画像の圧縮に失敗しました。画質／サイズを変えて、もう一度撮影してください。
アラームを設定しました	アラームを設定して、カメラの電源が自動的にオフになるときに表示されます。
画像・音声がありません	SDメモリーカードまたは内蔵メモリに再生できる画像が保存されていません。
カードの空き容量がありません 内蔵メモリの空き容量がありません	SDメモリーカードまたは内蔵メモリに容量いっぱいの画像が保存されていて、これ以上画像を保存できません。新しいSDメモリーカードをセットするか、不要な画像を消去してください。(p.20, 96) 画質または記録サイズを変えると保存できる可能性があります。(p.109, 111)
カードが異常です	SDメモリーカードの異常で、撮影／再生ともにできません。パソコンでは表示できる場合もあります。
カードがフォーマットされていません	フォーマットされていないSDメモリーカードがセットされているか、パソコンなどでフォーマットされたSDメモリーカードがセットされています。(p.116)
カードがロックされています	ロックされたSDメモリーカードが装着されています。メニュー操作、モード切り替えだけができます。
記録中です	画像をSDメモリーカードあるいは内蔵メモリに記録しています。
	画像のプロテクト設定やDPOF設定を変更しています。
	動画を記録しています。
この画像・音声を再生できません	このカメラでは再生できない画像や音声を再生しようとしています。他社のカメラやパソコンでは表示できる場合があります。
消去中です	画像を消去しています。
バッテリ容量が無くなりました 画像を保存できませんでした	バッテリー残量がありません。バッテリーを充電するか、充電済みのバッテリーと交換してください。(p.14)
フォーマット中です	SDメモリーカードまたは内蔵メモリをフォーマット中です。
フォルダが作成できません	最大のファイルNo.が使用されているため、画像を保存できません。新しいSDメモリーカードをセットするか、SDメモリーカードまたは内蔵メモリをフォーマットしてください。(p.116)
この画像・音声はプロテクトされています	プロテクトされた画像や音声を消去しようとした場合に表示されます。

PictBridge機能を使用する場合に、液晶モニタに表示されるメッセージには以下のようなものがあります。

用紙がありません	接続したプリンタの用紙がない場合に表示されます。
インクがありません	接続したプリンタのインクがない場合に表示されます。
プリンタエラーです	接続したプリンタでエラーメッセージが送られた場合に表示されます。
データエラーです	接続したプリンタからデータに関してのメッセージが送られた場合に表示されます。
用紙が詰まりました	接続したプリンタで紙詰まりが起こった場合に表示されます。

こんなときは？

現象	原因	対処方法
電源が入らない	電池が入っていない	電池が入っているか確認し、入っていなければ入れてください。
	電池の入れかたを間違えている	電池の挿入方向を確認してください。電池室の◀マークを合わせて電池を入れなおしてください。（p.14）
	電池の残量がない	新しい電池をセットしてください。または、ACアダプタキットを使用してください。
液晶モニタに何も表示されない	液晶モニタがオフにセットされている	DISPLAYボタンを押すと、液晶モニタがオンになります。（p.68）
	表示はされているが、確認しづらい	日中屋外での撮影は、液晶モニタが表示されていても、確認しづらいことがあります。
シャッターが切れない	ストロボが充電中	ストロボランプが赤色に点滅している間は、ストロボが充電中で撮影できません。充電が完了すると赤色に点灯します。
	SDメモリーカードまたは内蔵メモリに空き容量がない	空き容量のあるSDメモリーカードをセットするか、不要な画像を消去してください。（p.20, 96）
	書き込み中	書き込みが終了するまで待ってください。
撮影した写真が暗い	夜景などの暗い場所で撮るものまでの距離が遠い	撮るものまでの距離が遠すぎると、撮影した画像が暗くなります。ストロボの光がとどく範囲で撮影してください。
	背景が暗い	夜景など暗い背景で人物の写真を撮ると、人物は適正露出でも背景にはストロボの光がとどきませんので暗くなってしまうことがあります。モードにセットして撮影すると、人物も夜景もきれいに撮ることができます。（p.66）

現象	原因	対処方法
ピントが合わない	オートフォーカスの苦手なものを撮影しようとしている	コントラストの低いもの（青空や白壁など）、暗いもの、細かい模様のもの、速く動いているもの、窓やネット越しの風景などは、オートフォーカスが苦手なものです。いったん撮りたいものと同じ距離にあるピントの合いやすいものにピントを固定（シャッターボタン半押し）したまま、撮りたい構図に変えてシャッターを切ります。あるいはマニュアルフォーカスを使用してください。
	AFエリアに被写体が入っていない	液晶モニタ中央の〔　　〕（AFエリア）に、ピントを合わせたいものを入れてください。撮りたいものが、 AFエリアにない場合は、いったん撮りたいものをAFエリアに入れて、ピントを固定（シャッターボタン半押し）したまま、撮りたい構図に変えてシャッターを切ります。
	被写体が近すぎる	フォーカスモードを または （スーパーマクロ）にセットしてください。（p.69）
	フォーカスモードが または （スーパーマクロ）になっている	フォーカスモードが または （スーパーマクロ）にセットされているときは、通常の撮影域にはピントが合いません。
ストロボが発光しない	ストロボの発光方法が発光禁止になっている	オートまたは に設定してください。（p.72）
	撮影モードが にセットされているか、連続撮影、スーパーマクロ、遠景モード、 （美術館モード）、 （スポーツモード）または （マリンムービー）に設定されている	これらのモードではストロボは発光しません。 （美術館モード）と （スポーツモード）は、ストロボの発光禁止を解除できます。

主な仕様

カメラ本体

型式	ズームレンズ内蔵全自動コンパクトタイプデジタルスチルカメラ	
有効画素数	500万画素	
撮像素子	総画素数525万画素 原色フィルタ／インターライントランスファー 1/2.5型CCD	
記録画素数	静止画	2560×1920ピクセル、2048×1536ピクセル、1600×1200ピクセル、1024×768ピクセル、640×480ピクセル
	動画	320×240ピクセル
感度	オート、マニュアル（80/100/200/400：標準出力感度）	
記録方式	静止画	JPEG（Exif2.2）、DCF準拠、DPOF対応、PRINT Image Matching III対応
	動画	AVI（Motion JPEG準拠）、約15フレーム／秒、音声あり
	音声	WAV（ADPCM方式）、モノラル、最大録音可能時間　約3時間10分（64MBのSDメモリーカード使用時）
画質	S.ファイン、ファイン、エコノミー	
記録媒体	内蔵メモリ（約10MB）、SDメモリーカード	

撮影枚数（64MBのSDメモリーカードを使用した場合）

記録サイズ ＼ 画質	★★★ S.ファイン	★★ ファイン	★ エコノミー	動画（320×240）
2560×1920	約18枚	約36枚	約61枚	約5分32秒
2048×1536	約30枚	約56枚	約82枚	
1600×1200	約51枚	約88枚	約123枚	
1024×768	約112枚	約206枚	約268枚	
640×480	約247枚	約386枚	約515枚	

ホワイトバランス	オート、太陽光、曇天、日陰、白熱灯、蛍光灯（昼白色／白色）、蛍光灯（昼光色）、マニュアル	
レンズ	焦点距離	5.8mm～17.4mm （35mmフィルム換算：35.6～107mm相当）
	最大F値	F2.6～F4.8
	レンズ構成	5群6枚（非球面レンズ2枚使用）
	ズーム方式	電動式
	撮影範囲	38.6mm×28.9mmを画面いっぱいに撮影可能（スーパーマクロモード）
	レンズバリア	電動式
デジタルズーム	撮影・再生時	最大約4倍（光学3倍ズームと合わせ、最大約12倍ズーム相当のズーム倍率）
ファインダー	方式	実像式ズームファインダー
	倍率	ワイド0.28×、テレ0.78×
液晶モニタ	1.8型TFTカラー LCD、8.5万画素（バックライト付）、視野率約100％	
再生機能	1コマ、インデックス（9画面）、拡大（最大4倍）、スクロール、回転再生、スライドショウ、ムービー再生、ヒストグラム表示、画像・音声コピー、トリミング、リサイズ、アラーム	

オートフォーカス	方式	撮像素子によるTTLコントラスト検出方式 7点マルチ／スポット切替、49点選択測距
	撮影範囲 （レンズ前面から）	ノーマル：0.4m～∞（ズーム全域） マクロ：0.18m～0.5m（ズーム全域） スーパーマクロ：0.06m～0.2m （ズーム中央位置のみ） 遠景：∞（ズーム全域）
	フォーカスロック	シャッターボタン半押しによる
マニュアルフォーカス	0.18m～∞（焦点距離中間付近では0.06m～∞）	
露出機構	測光方式	撮像素子によるTTL測光（分割、中央部重点、スポット）
	撮影モード	グリーン、プログラム、ピクチャー（風景、花、ポートレート、セルフポートレート、サーフ＆スノー、紅葉、夕景、美術館、テキスト、料理、スポーツ）、ソフト、夜景、動画、パノラマアシスト、3D、デジタルフィルタ、USER、マリン、マリンムービー
	露出補正	±2EV（1/3EVステップで設定可能）
	動画	撮影時間約1秒～メモリーカード容量いっぱいまで
シャッター	型式	メカニカル併用電子シャッター
	速度	約1/2000秒～約4秒
ストロボ	型式	赤目軽減機能付オートストロボ
	発光モード	オート、発光禁止、強制発光、オート＋赤目軽減、強制発光＋赤目軽減
	撮影範囲	ワイド 約0.2m～約3.5m（標準出力感度200） テレ 約0.2m～約2.0m（標準出力感度200）
ドライブモード	1コマ撮影、連続撮影、3秒後リモコン撮影、即リモコン撮影、10秒セルフタイマー撮影、2秒セルフタイマー撮影	
セルフタイマー	電子制御式、作動時間：約10秒、約2秒	
時計機能	ワールドタイム設定、世界62都市に対応（28タイムゾーン）	
アラーム	選択した画像を指定時間にアラームと同時に表示（最大3メモリー）	
電源	充電式リチウムイオンバッテリー D-LI8、ACアダプタキット（別売）	
バッテリー寿命	約160枚	（液晶モニタオン、ストロボ使用率50%、23℃、充電式リチウムイオンバッテリー D-LI8を使用した場合） ※撮影可能枚数はCIPA規格に準じた測定条件による目安ですが、使用条件により変わります。
入出力ポート	USB／ビデオ端子（PC通信方式USB1.1）、外部電源端子	
ビデオ出力方式	NTSC／PAL	
大きさ	84（幅）×52（高）×20.5（厚）mm（操作部材および小突起部を除く）	
質量	105g（電池、SDメモリーカード含まず）	
撮影時質量	120g（電池、SDメモリーカード含む）	
主な付属品	充電式リチウムイオンバッテリー、バッテリー充電スタンド、ACコード、USBケーブル、ソフトウェア（CD-ROM）、AVケーブル、ストラップ、使用説明書	

電源

	バッテリー充電スタンドD-BC25	ACアダプタD-AC8（別売）
定格入力	AC100-240V（50Hz／60Hz）	AC100-240V（50Hz／60Hz）
定格出力	DC4.2V／630mA	DC4.5V／2A
大きさ	105×75.5×29.5（mm）	90×43.5×26.5（mm）
質量	92g	122g

アフターサービスについて

1. 本製品が万一故障した場合は、ご購入日から満1年間無料修理致しますので、お買い上げ店か使用説明書に記載されている当社サービス窓口にお申し出ください。修理をお急ぎの場合は、当社のサービス窓口に直接お持ちください。修理品ご送付の際は、輸送中の衝撃に耐えられるようしっかり梱包し、発送や受け取りの記録が残る宅配便などをご利用ください。不良見本のサンプルや故障内容の正確なメモを添付していただけると原因分析に役立ちます。

2. 保証期間中［ご購入後 1 年間］は、保証書［販売店印および購入年月日が記入されているもの］をご提示ください。保証書がないと保証期間中でも修理が有料になります。なお、販売店または当社サービス窓口へお届けいただく諸費用はお客様にご負担願います。また、販売店と当社間の運賃諸掛りにつきましても、輸送方法によっては一部ご負担いただく場合があります。

3. 次の場合は、保証期間中でも無料修理の対象にはなりません。
   - 使用上の誤り（使用説明書記載以外の誤操作等）により生じた故障。
   - 当社の指定するサービス機関以外で行われた修理・改造・分解による故障。
   - 火災・天災・地変等による故障。
   - 保管上の不備（高温多湿の場所、防虫剤や有害薬品のある場所での保管等）や手入れの不備（本体内部に砂・ホコリ・液体かぶり等）による故障。
   - 修理ご依頼の際に保証書のご提示、添付がない場合。
   - お買い上げ販売店名や購入日等の記載がない場合ならびに記載事項を訂正された場合。

4. 保証期間以降の修理は有料修理とさせていただきます。なお、その際の運賃諸掛りにつきましてもお客様のご負担とさせていただきます。

5. 本製品の補修用性能部品は、製造打ち切り後 5 年間を目安に保有しております。したがって本期間中は原則として修理をお受け致します。なお、期間以後であっても修理可能の場合もありますので、当社サービス窓口にお問い合わせください。

6. 海外でご使用になる場合は、国際保証書をお持ちください。国際保証書は、お持ちの保証書と交換に発行いたしますので、使用説明書記載のお客様窓口にご持参またはご送付ください。［保証期間中のみ有効］

7. 保証内容に関して、詳しくは保証書をご覧ください。

ペンタックスピックアップリペアサービス

全国（一部の離島を除く）どこからでも均一料金で修理品梱包資材のお届け・修理品のお引取りから、修理完成品のお届けまでを一括して提供する便利なサービスです。
TEL 0120-737-919（フリーダイヤル）TEL 03-3975-4314（携帯・PHS用）
（受付時間：土・日・祝日・年末年始および弊社休業日を除く9：00～17：00）
インターネット受付
URL：http://www.pentax.co.jp/japan/support/

索引

8 付録

8
付録

お客様窓口のご案内

ペンタックスホームページアドレス **http://www.pentax.co.jp/**

お客様相談センター（弊社製品に関するお問い合わせ）

〒 174-8639 東京都板橋区前野町 2-36-9
営業時間午前 9：00 ～午後 6：00（土・日・祝日および弊社休業日を除く）
0570-001313（市内通話料でご利用いただけます。）
携帯電話、PHS の方は、下記の電話番号をご利用ください。
☎03-3960-3200（代） **☎03-3960-0887** デジタルカメラ専用

［ショールーム・写真展・修理受付］

ペンタックスフォーラム **☎03-3348-2941（代）**

〒 163-0401 東京都新宿区西新宿 2-1-1 新宿三井ビル 1 階（私書箱 240 号）
営業時間午前 10：30 ～午後 6：30（年末年始および三井ビル点検日を除き年中無休）

［修理受付］

ペンタックス札幌営業所お客様窓口 **☎011-612-3231（代）**

〒 060-0010 札幌市中央区北 10 条西 18-36 ペンタックス札幌ビル 2 階
営業時間午前 9：00 ～午後 5：00（土・日・祝日および弊社休業日を除く）

ペンタックス仙台営業所お客様窓口 **☎022-371-6663（代）**

〒 981-3133 仙台市泉区泉中央 1-7-1 千代田生命泉中央駅ビル 5 階
営業時間午前 9：00 ～午後 5：00（土・日・祝日および弊社休業日を除く）

ペンタックス名古屋営業所お客様窓口 **☎052-962-5331（代）**

〒 461-0001 名古屋市東区泉 1-19-8 ペンタックスビル 3 階
営業時間午前 9：00 ～午後 5：00（土・日・祝日および弊社休業日を除く）

ペンタックス大阪営業所お客様窓口 **☎06-6271-7996（代）**

〒 542-0081 大阪市中央区南船場 1-17-9 パールビル 2 階
営業時間午前 9：00 ～午後 5：00（土・日・祝日および弊社休業日を除く）

ペンタックス広島営業所お客様窓口 **☎082-234-5681（代）**

〒 730-0851 広島市中区榎町 2-15 榎町ビュロー 1 階
営業時間午前 9：00 ～午後 5：00（土・日・祝日および弊社休業日を除く）

ペンタックス福岡営業所お客様窓口 **☎092-281-6868（代）**

〒 810-0802 福岡市博多区中洲中島町 3-8 パールビル 2 階
営業時間午前 9：00 ～午後 5：00（土・日・祝日および弊社休業日を除く）

［宅配便・郵便修理受付・修理に関するお問い合わせ］

ペンタックスサービス（株）東日本修理センター **☎03-3975-4341（代）**

〒 175-0082 東京都板橋区高島平 6-6-2 ペンタックス（株）流通センター内
営業時間午前 9：00 ～午後 5：00（土・日・祝日および弊社休業日を除く）

ペンタックスサービス（株）西日本修理センター **☎06-6271-7996（代）**

〒 542-0081 大阪市中央区南船場 1-17-9 パールビル 2 階
営業時間午前 9：00 ～午後 5：00（土・日・祝日および弊社休業日を除く）

ペンタックス株式会社

〒 174-8639 東京都板橋区前野町 2-36-9

ペンタックス販売株式会社

〒 100-0014 東京都千代田区永田町 1-11-1

☆仕様および外観の一部を予告なく変更することがあります。

57425
01-200408
Printed in Philippines